

令和 3 年度

菊陽町事業者経済動向調査 報告書

菊陽町商工会 経営発達支援事業

菊陽町商工会

2022 年 3 月

1. 調査の概要

(1) 目的

「経営発達支援計画」に基づき実施するもので、小規模事業者への相談事業や地域経済の活性化への取り組みに活用することを目的に、管内の景気動向等について体感的な実態を把握し公表する。

(2) 調査方法

管内小規模事業者景気動向について、新型コロナウイルス感染症の経営への影響調査について熊本県商工会連合会と調査した。

(3) 調査時期

第 7 回 令和3年 3月31日時点

第 8 回 令和3年 5月31日時点

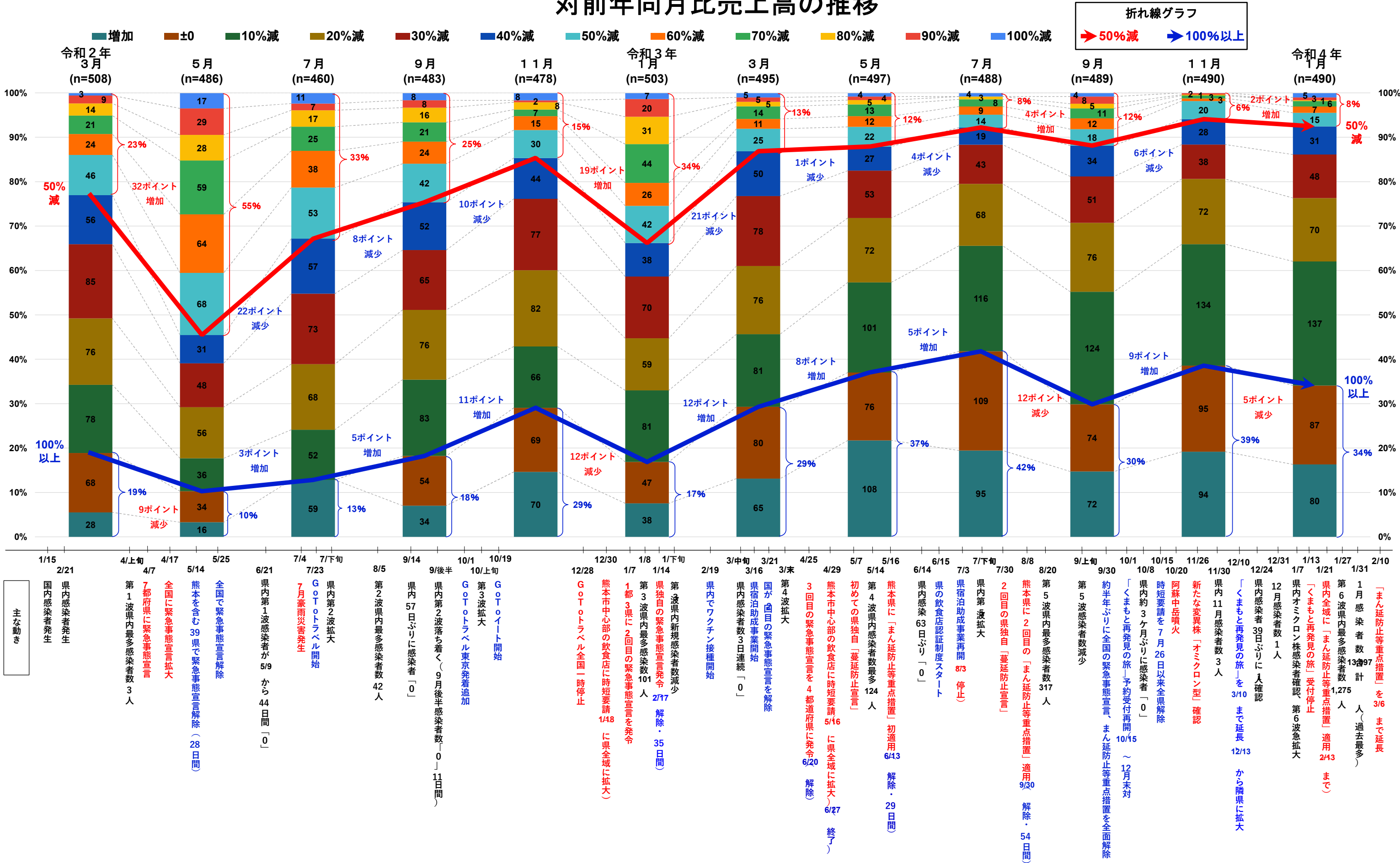
第 9 回 令和3年 7月31日時点

第10回 令和3年 9月30日時点

第11回 令和3年11月30日時点

第12回 令和4年 1月31日時点

対前年同月比売上高の推移

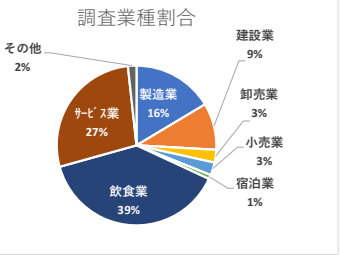


新型コロナウイルス経営への影響調査（総括）

1.調査業種

実施回	調査日	製造業	建設業	運輸業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	サービス業	その他	合計
第1回	令和2年3月31日	3	1	0	1	1	0	2	2	0	10
第2回	令和2年5月31日	2	0	0	0	1	0	4	3	0	10
第3回	令和2年7月31日	3	0	0	0	0	0	4	3	0	10
第4回	令和2年9月30日	1	3	0	0	0	0	2	1	0	7
第5回	令和2年11月30日	2	2	0	0	0	0	4	1	0	9
第6回	令和3年1月31日	2	1	0	0	0	0	4	2	0	9
第7回	令和3年3月31日	1	1	0	0	0	1	4	1	2	10
第8回	令和3年5月31日	1	0	0	1	0	0	4	4	0	10
第9回	令和3年7月31日	1	0	0	0	0	0	5	4	0	10
第10回	令和3年9月30日	1	1	0	1	0	0	4	4	0	11
第11回	令和3年11月30日	1	2	0	0	1	0	3	3	0	10
第12回	令和4年1月31日	1	0	0	0	0	0	5	4	0	10
合計		19	11	0	3	3	1	45	32	2	116
平均		1.6	0.9	0.0	0.3	0.3	0.1	3.8	2.7	0.2	9.7

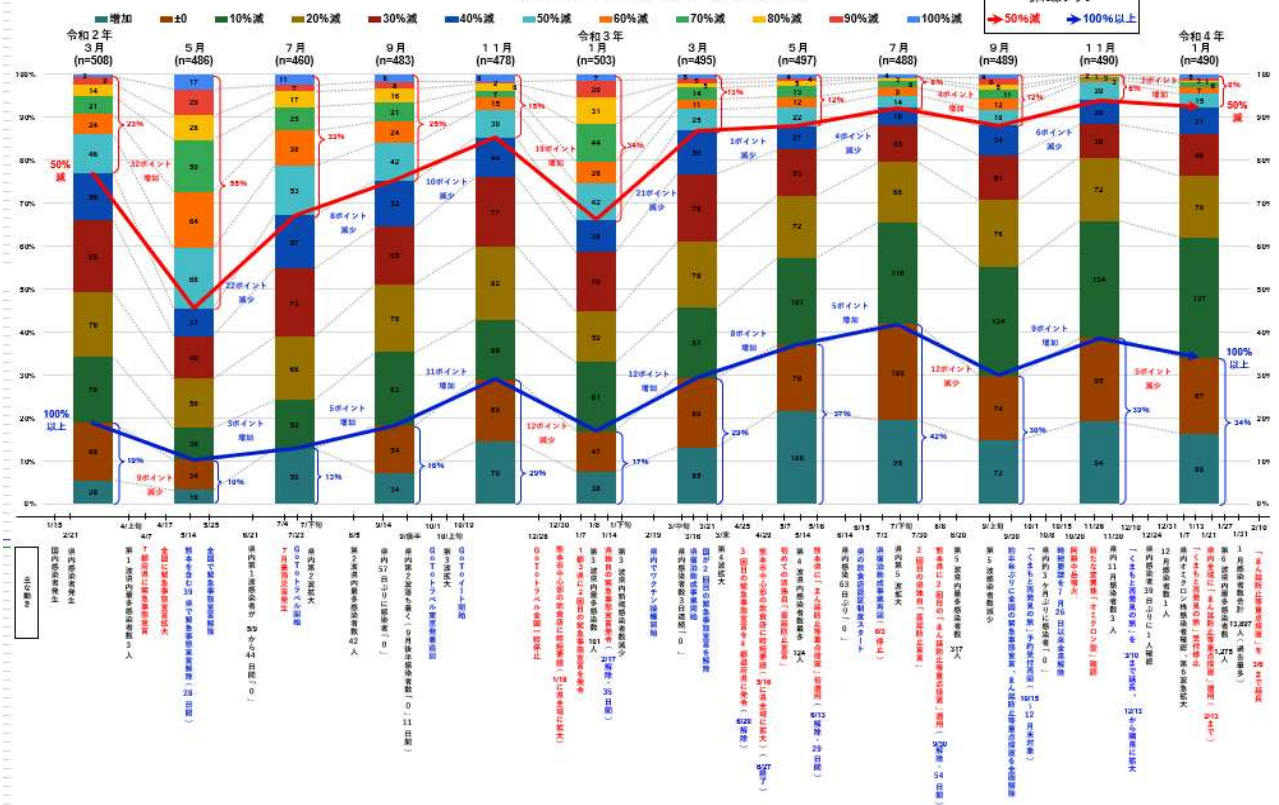
西原村商工会



2. 対前年同月売上高推移（県全体・菊陽町）

対前年同月売上高の推移

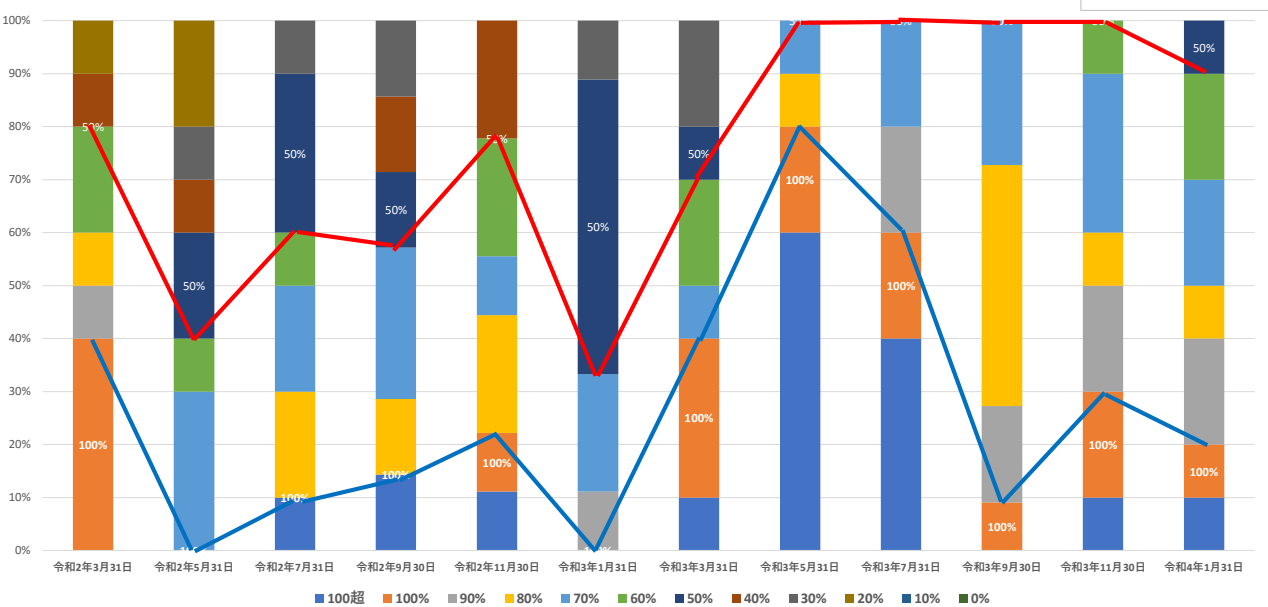
県全体



対前年同月売上高の推移（菊陽町）

折れ線グラフ

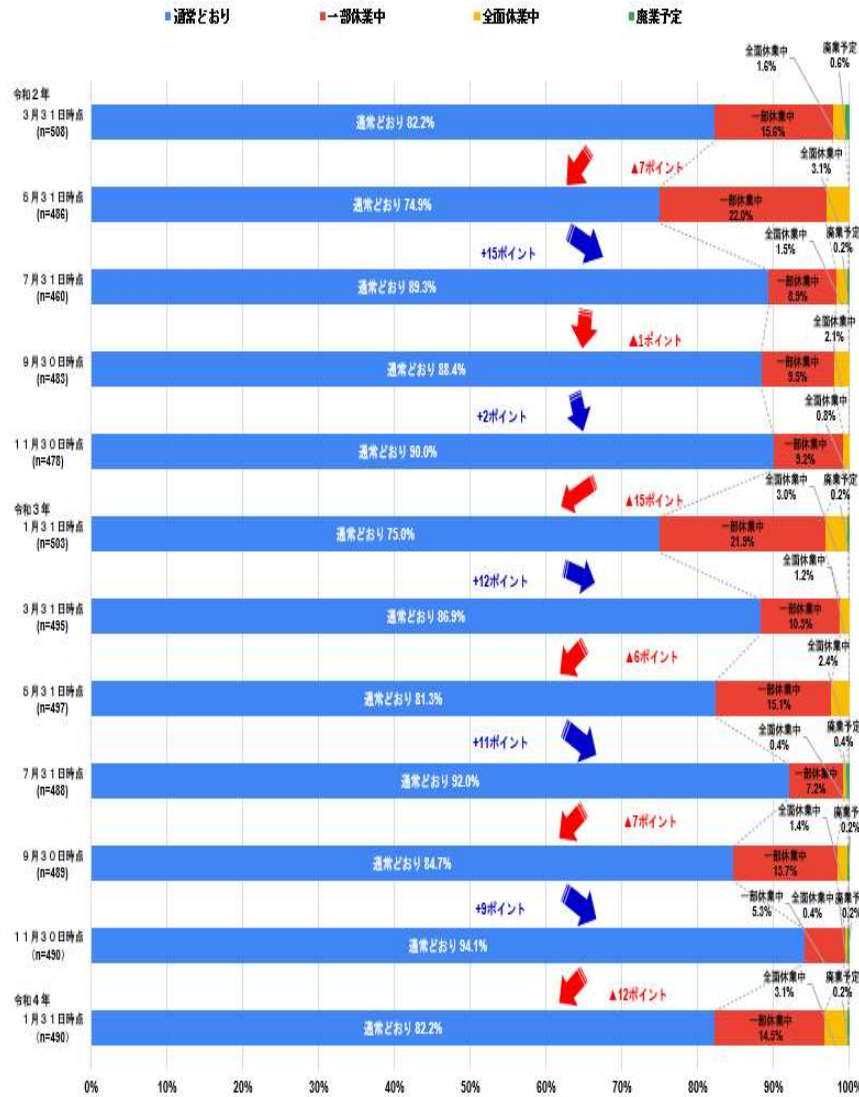
→ 50%減 → 100%超



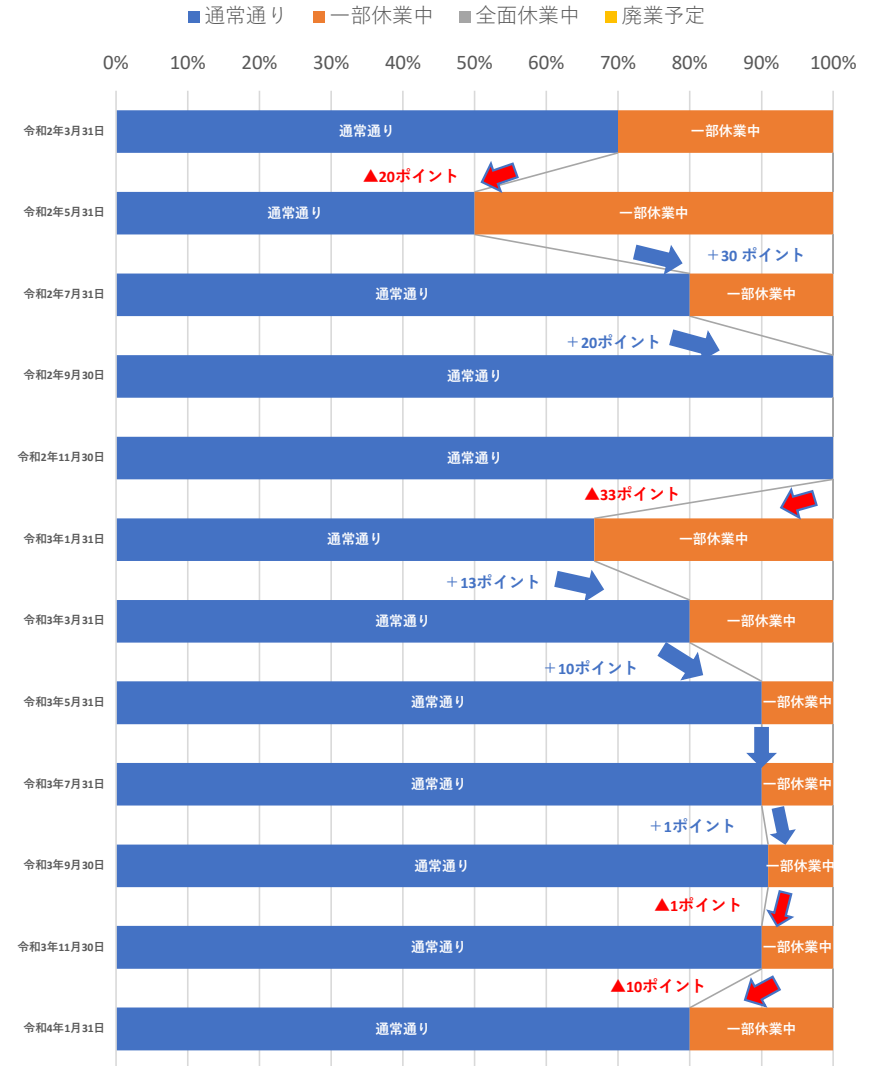
県全体

3.操業状況比較（県全体・菊陽町）

操業状況比較



操業状況推移（菊陽町）



新型コロナウイルス感染症に係る「第7回経営への影響追跡調査」調査票

Q1 商工会名を記載してください。

_____ 商工会

Q2 貴者の業種を教えてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 製造業 | 2. 建設業 | 3. 運輸業 |
| 4. 卸売業 | 5. 小売業 | 6. 宿泊業 |
| 7. 飲食業 | 8. サービス業 | |

Q3-1 従業員数

_____ 人

Q3-2 うち家族数

_____ 人

Q4 創業何年目ですか。

_____ 年

Q5-1 貴者の今年（令和3年）5月の売上高は、前年（令和2年）同月を「100」とすると、
どの程度でしたか。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ 100超 | ☐ 100 | ☐ 90 | ☐ 80 | ☐ 70 | ☐ 60 | ☐ 50 |
| ☐ 40 | ☐ 30 | ☐ 20 | ☐ 10 | ☐ 0 | | |

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

--

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を
選択された方

--

Q6-1 貴者の今年（令和3年）5月の売上高は、2年前（令和元年）同月を「100」とすると、
どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を
選択された方

Q7 貴者の3月末時点での操業状況について教えてください。

1. 通常どおり 2. 一部休業中 3. 全面休業中 4. 廃業予定

Q8-1 3月末時点のような状況が続いた場合の1ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-2 3月末時点のような状況が続いた場合の3ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-3 3月末時点のような状況が続いた場合の6ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-4 3月末時点のような状況が続いた場合の1年後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9－1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

1. 国の一時支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の持続化給付金
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 国の持続化補助金
7. 国のなりわい再建支援補助金
8. 国の Go To キャンペーン
9. 県の時短要請協力金
10. 県の事業継続・再開支援一時金
11. 県の事業継続支援金
12. 県の業態転換支援補助金
13. 県・市町村による宿泊助成事業
14. 市町村によるプレミアム商品券事業
15. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
16. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
17. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
18. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
19. その他

Q9－2 どのように活用したか・効果があったか・あるいは活用しにくかった点があれば具体的に教えて下さい。

--

Q10-1 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）

1. 国の一時支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の持続化給付金
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 国の持続化補助金
7. 国のなりわい再建支援補助金
8. 国の Go To キャンペーン
9. 県の時短要請協力金
10. 県の事業継続・再開支援一時金
11. 県の事業継続支援金
12. 県の業態転換支援補助金
13. 県・市町村による宿泊助成事業
14. 市町村によるプレミアム商品券事業
15. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
16. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
17. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
18. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
19. その他

Q10-2 どのように活用予定か・期待しているか・あるいは改善点等について具体的に教えて下さい。

--

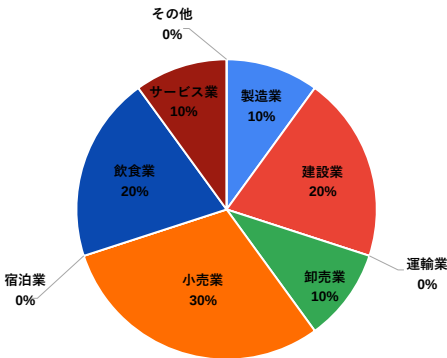
Q11 コロナ禍による影響が1年以上となりましたが、今後に向けた国・県・市町村・金融機関・商工会の感染症対策や事業者支援策等に対する意見や要望をご記入ください。

--

Q2業種

業種	件数	構成比
製造業	1	10%
建設業	2	20%
運輸業	0	0%
卸売業	1	10%
小売業	3	30%
宿泊業	0	0%
飲食業	2	20%
サービス業	1	10%
その他	0	0%
合計	10	100%

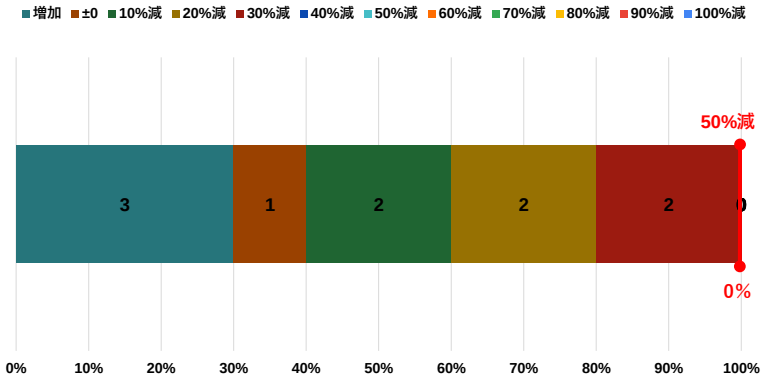
調査業種構成比



Q5－1 令和3年3月の売上高は前年同月比どの程度か

景況感		件数	構成比
100超	増加	3	30%
100	±0	1	10%
90	10%減	2	20%
80	20%減	2	20%
70	30%減	2	20%
60	40%減	0	0%
50	50%減	0	0%
40	60%減	0	0%
30	70%減	0	0%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			0%

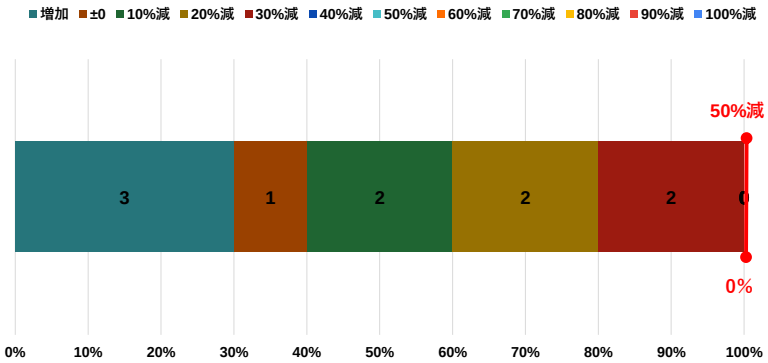
令和3年3月売上高は前年同月比どの程度か



Q6－1 令和元年度1年間と令和2年度1年間の売上高の比較

景況感		件数	構成比
100超	増加	3	30%
100	±0	1	10%
90	10%減	2	20%
80	20%減	2	20%
70	30%減	2	20%
60	40%減	0	0%
50	50%減	0	0%
40	60%減	0	0%
30	70%減	0	0%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			0%

令和元年度1年間と令和2年度1年間の売上高の比較



Q7 操業状況

操業状況	件数	構成比
通常どおり	10	100.0%
一部休業中	0	0.0%
全面休業中	0	0.0%
廃業予定	0	0.0%
合計	10	100%

Q8-1 1ヶ月後の見通しについて

1ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q8-2 3ヶ月後の見通し

3ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q8-3 6ヶ月後の見通し

6ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q8-4 1年後の見通し

1年後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q9-1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

	件数	構成比
国の一時支援金	1	5%
国の事業再構築補助金	0	0%
国の持続化給付金	10	45%
国の家賃支援給付金	2	9%
国の雇用調整助成金	2	9%
国の持続化補助金	1	5%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGo Toキャンペーン	3	14%
県の時短要請協力金	1	5%
県の事業継続・再開支援一時金	0	0%
県の事業継続支援金	0	0%
県の業態転換支援補助金	0	0%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	2	9%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	0	0%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	0	0%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
その他	0	0%
合計	22	100%

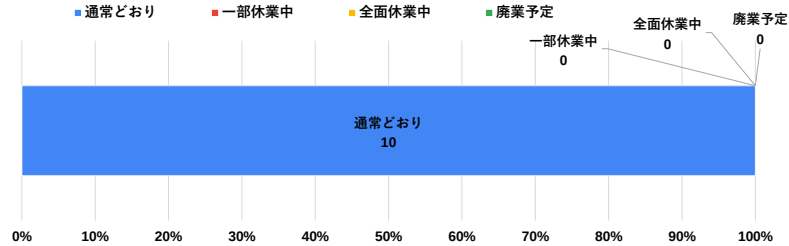
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援

連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業

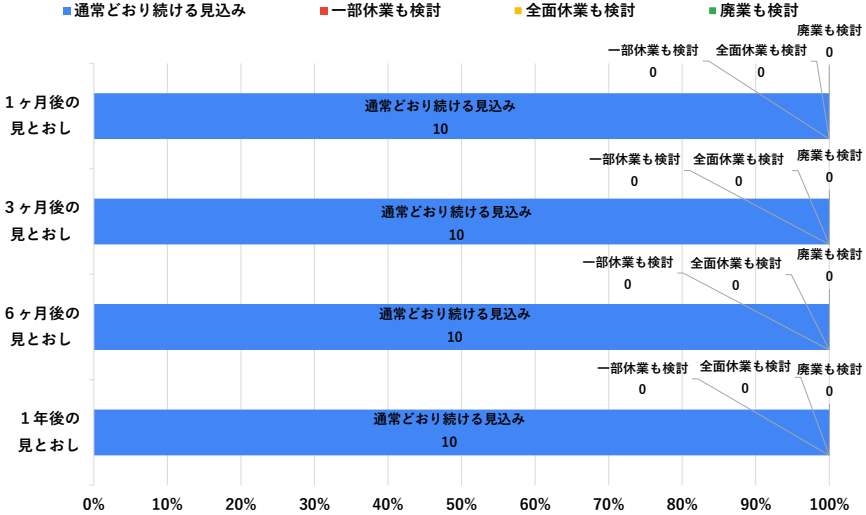
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援

連合会・商工会等による事業承継・創業支援

3月31日時点の操業状況

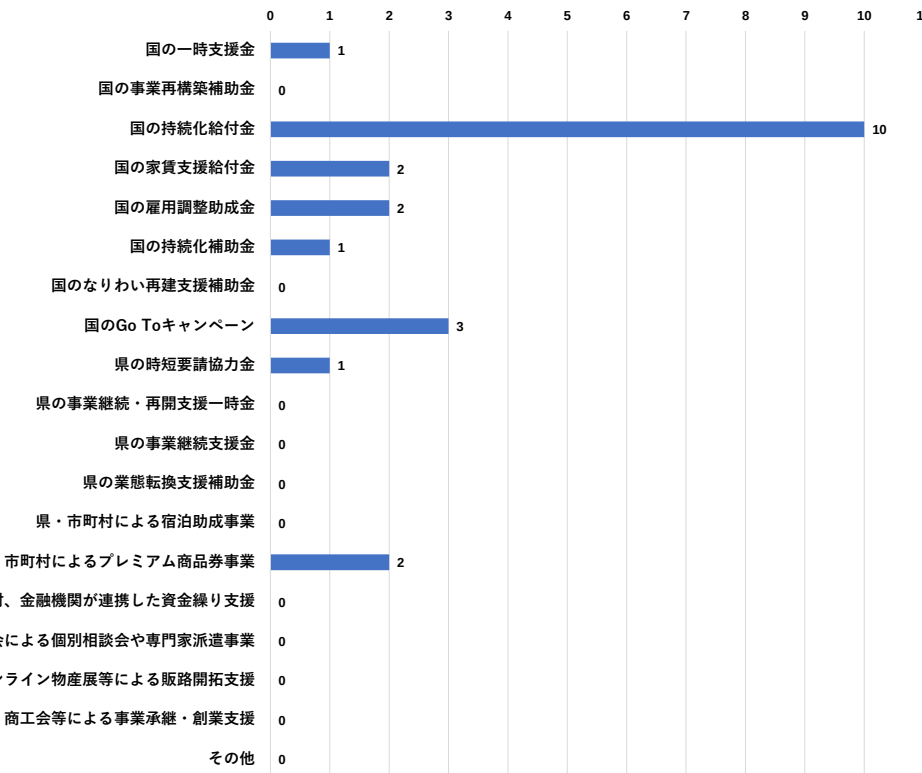


今後の見とおし



支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）

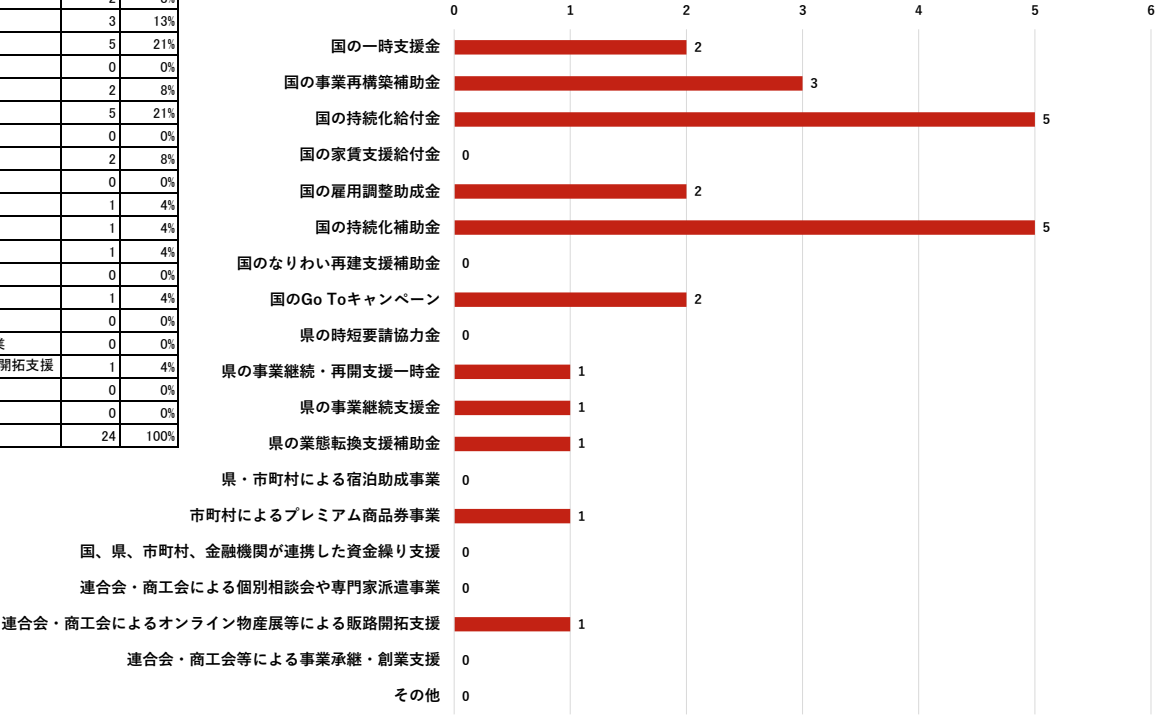
（複数回答）



Q10-1 今後どのような支援策の活用を予定(期待)しますか

	件数	構成比
国の一時支援金	2	8%
国の事業再構築補助金	3	13%
国の持続化給付金	5	21%
国の家賃支援給付金	0	0%
国の雇用調整助成金	2	8%
国の持続化補助金	5	21%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGo Toキャンペーン	2	8%
県の時短要請協力金	0	0%
県の事業継続・再開支援一時金	1	4%
県の事業継続支援金	1	4%
県の業態転換支援補助金	1	4%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	1	4%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	0	0%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	0	0%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	1	4%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
その他	0	0%
合計	24	100%

支援策の活用予定（期待）（複数回答）



第7回「経営の影響追跡調査」（自由記載集計）

菊陽町

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・熊本地震で建物が壊れしばらく仮店舗で営業していました。仮店舗から新築店舗へ2019年12月に移転して、来客数が増えました
- ・受注の増加、技術者の導入による工種の増加（転換）
- ・お客様に知ってもらう機会が増えた（口コミ・SNSの宣伝）
- ・頑張ったから

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・記載なし

Q6-2 1年間の売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 10】を選択された方

- ・店舗来店客の増加。商品等の情報をFacebook・Twitter・Instagramを利用して発信を続けているのが…来店客増、一人当たりの売上単価増につながっている。
- ・受注の増加、技術力の上昇による業種の拡張
- ・宣伝・口コミ・SNSなど商品の数を増やし、単価アップに成功した
- ・納品先が順調でした

Q6-3 1年間の売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・記載なし

Q9ー2 どのように活用したか・効果があったか・あるいは活用しにくかった点があれば具体的に教えて下さい。

- ・コロナワクチン接種を急いで行って、日常が早く戻らないと解決方法は他に無い様に思います。
- ・持続化給付金：店舗休業中、大変助かりました
- ・商工会に相談した

Q10ー2 どのように活用予定か・期待しているか・あるいは改善点等について具体的に教えてください。

- ・店舗の売上に影響するような、備品・宣伝費に使用したい
- ・商工会に相談します

Q11 コロナ禍による影響が1年以上となりましたが、今後に向けた国・県・市町村・金融機関・商工会の感染症対策や事業者支援策等に対する意見や要望をご記入ください。

- ・町・国の情報を今まで以上によりしくお願いします。

新型コロナウイルス感染症に係る「第8回経営への影響追跡調査」調査票

Q1 商工会名を記載してください。

_____ 商工会

Q2 貴者の業種を教えてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 製造業 | 2. 建設業 | 3. 運輸業 |
| 4. 卸売業 | 5. 小売業 | 6. 宿泊業 |
| 7. 飲食業 | 8. サービス業 | |

Q3-1 従業員数

_____ 人

Q3-2 うち家族数

_____ 人

Q4 創業何年目ですか。

_____ 年

Q5-1 貴者の今年（令和3年）5月の売上高は、緊急事態宣言が全国に発出されていた1年前の令和2年5月を「100」とすると、どの程度でしたか。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ 100超 | ☐ 100 | ☐ 90 | ☐ 80 | ☐ 70 | ☐ 60 | ☐ 50 |
| ☐ 40 | ☐ 30 | ☐ 20 | ☐ 10 | ☐ 0 | | |

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

--

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

--

Q6-1 貴者の今年（令和3年）5月の売上高は、コロナの影響がなかった2年前の令和元年5月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

--

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

--

Q7 貴者の5月末時点での操業状況について教えてください。

1. 通常どおり 2. 一部休業中 3. 全面休業中 4. 廃業予定

Q8-1 5月末時点のような状況が続いた場合の1ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-2 5月末時点のような状況が続いた場合の3ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-3 5月末時点のような状況が続いた場合の6ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-4-1 5月末時点のような状況が続いた場合の1年後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q8-4-2 Q8-4-1で1年後に【4. 廃業も検討せざるを得ない】を選択された方にお尋ねします。
「1年後に廃業を検討せざるを得ない」を選択された理由を具体的に教えてください。(複数回答可)

1. コロナ禍により将来の見通しが立たないため
2. 経営者が高齢であり、後継者もないため
3. 赤字に転落する前に見切りをつけたい
4. 倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい
5. 元々廃業する予定であったため
6. 将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため
7. 熊本地震からの営業再開の見通しが立たないため
8. 令和2年7月豪雨からの営業再開の見通しが立たないため

Q9-1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

- 1. 国の一時支援金
- 2. 国の持続化給付金
- 3. 国の家賃支援給付金
- 4. 国の雇用調整助成金
- 5. 国の持続化補助金
- 6. 国のなりわい再建支援補助金
- 7. 国の Go To キャンペーン
- 8. 県の時短要請協力金
- 9. 県の事業継続・再開支援一時金
- 10. 県の事業継続支援金
- 11. 県の業態転換支援補助金
- 12. 県・市町村による宿泊助成事業
- 13. 市町村によるプレミアム商品券事業
- 14. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
- 15. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
- 16. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
- 17. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
- 18. その他

Q9-2 Q9-1で【18. その他】を選択された方は、その内容を教えてください。

--

Q9-3 どのように活用したか、事業継続にどのような効果があったか等について具体的に教えてください。

--

Q10-1 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）

1. 国の月次支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の持続化給付金
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 国の持続化補助金
7. 国のなりわい再建支援補助金
8. 国の Go To キャンペーン
9. 県の時短要請協力金
10. 県の事業継続・再開支援一時金
11. 県の事業継続支援金
12. 県の業態転換支援補助金
13. 県・市町村による宿泊助成事業
14. 市町村によるプレミアム商品券事業
15. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
16. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
17. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
18. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
19. その他

Q10-2 Q10-1で【19. その他】を選択された方は、その内容を教えてください。

--

Q10-3 支援策をどのように活用予定か・期待しているか・その要件や手続き等の改善点等について具体的に教えてください。

--

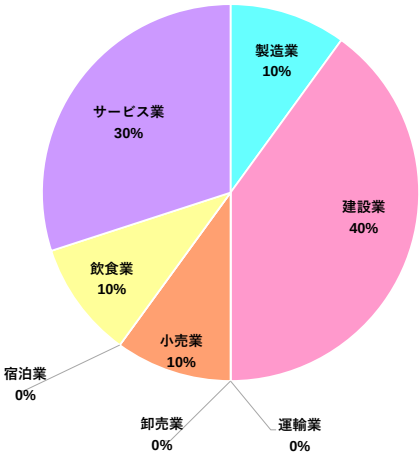
Q11 コロナ禍が一年以上継続する中で、今後の事業継続に向けて国・県・市町村の感染症対策に対する意見や要望をご記入ください。

Q12 コロナ禍が一年以上継続する中で、今後の事業継続に向けて国・県・市町村・金融機関・商工会の事業者支援策に対する意見や要望をご記入ください。

Q2業種

業種	件数	構成比
製造業	1	10%
建設業	4	40%
運輸業	0	0%
卸売業	0	0%
小売業	1	10%
宿泊業	0	0%
飲食業	1	10%
サービス業	3	30%
その他	0	0%
合計	10	100%

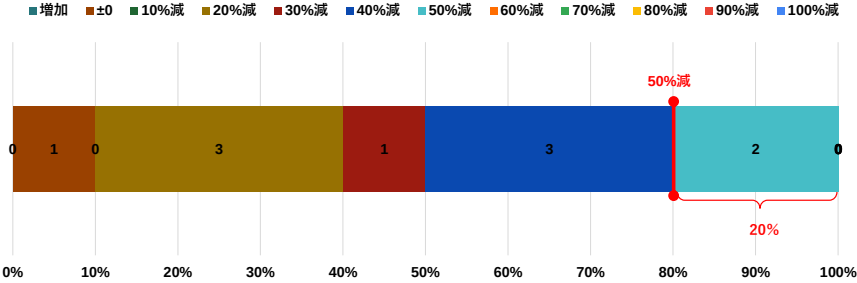
調査業種構成比



Q5-1 令和3年5月の売上高は前年同月比どの程度か

景況感		件数	構成比
100超	増加	0	0%
100	±0	1	10%
90	10%減	0	0%
80	20%減	3	30%
70	30%減	1	10%
60	40%減	3	30%
50	50%減	2	20%
40	60%減	0	0%
30	70%減	0	0%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			20%

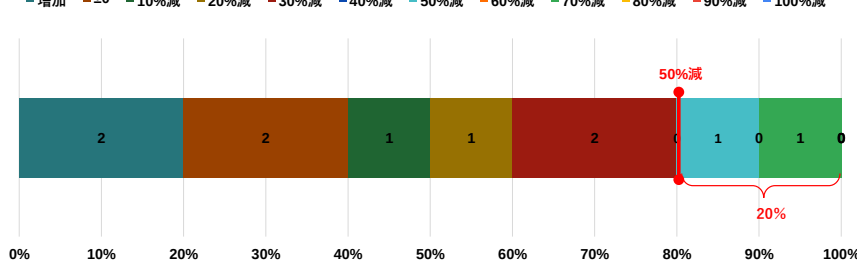
令和3年5月売上高は前年同月の売上高の比較



Q6-1 令和3年5月の売上高は2年前同月比どの程度か

景況感		件数	構成比
100超	増加	2	20%
100	±0	2	20%
90	10%減	1	10%
80	20%減	1	10%
70	30%減	2	20%
60	40%減	0	0%
50	50%減	1	10%
40	60%減	0	0%
30	70%減	1	10%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			20%

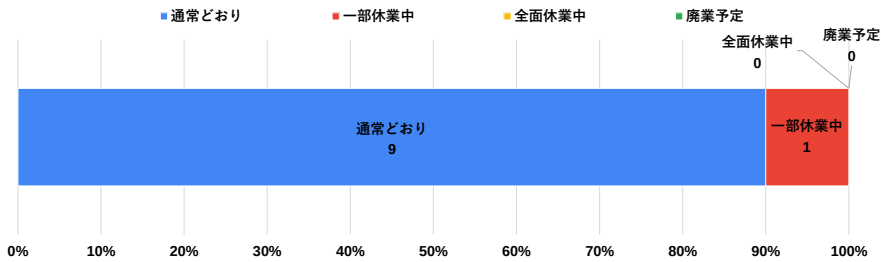
令和3年5月と2年前同月の売上高の比較



Q7 操業状況

操業状況	件数	構成比
通常どおり	9	90%
一部休業中	1	10%
全面休業中	0	0%
廃業予定	0	0%
合計	10	100%

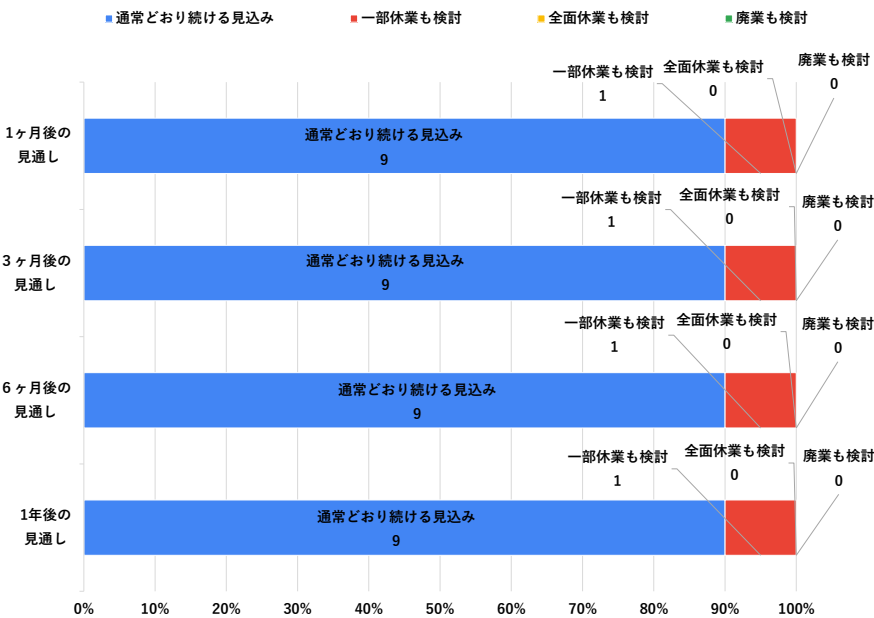
5月31日時点の操業状況



Q8-1 1ヶ月後の見通しについて

1ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

今後の見とおし



Q8-2 3ヶ月後の見通し

3ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q8-3 6ヶ月後の見通し

6ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q8-4-1 1年後の見通し

1年後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

1年後廃業を検討する理由

(複数回答)

Q8-4-2 1年後に廃業を検討せざるを得ない理由(複数回答)

1年後に廃業を検討する理由	件数	構成比
コロナ禍により将来の見通しが立たないため	0	0%
経営者が高齢であり、後継者もないため	0	0%
赤字に転落する前に見切りをつけたい	0	0%
倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい	0	0%
元々廃業する予定であったため	0	0%
将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため	0	0%
熊本地震からの営業再開の見通しが立たないため	0	0%
令和2年7月豪雨からの営業再開の見通しが立たないため	0	0%
合計	0	0%

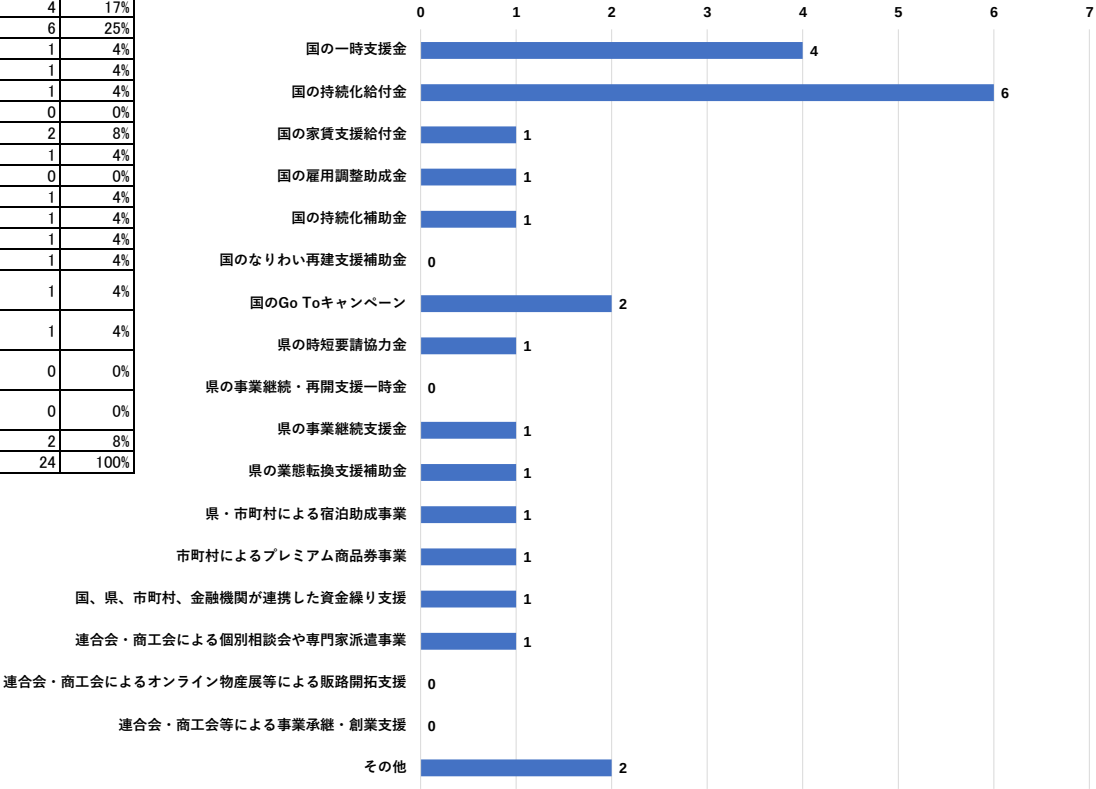


Q9ー1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

支援策	件数	構成比
国の一時支援金	4	17%
国の持続化給付金	6	25%
国の家賃支援給付金	1	4%
国の雇用調整助成金	1	4%
国の持続化補助金	1	4%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGo Toキャンペーン	2	8%
県の時短要請協力金	1	4%
県の事業継続・再開支援一時金	0	0%
県の事業継続支援金	1	4%
県の業態転換支援補助金	1	4%
県・市町村による宿泊助成事業	1	4%
市町村によるプレミアム商品券事業	1	4%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	1	4%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	1	4%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
その他	2	8%
合計	24	100%

支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）

（複数回答）

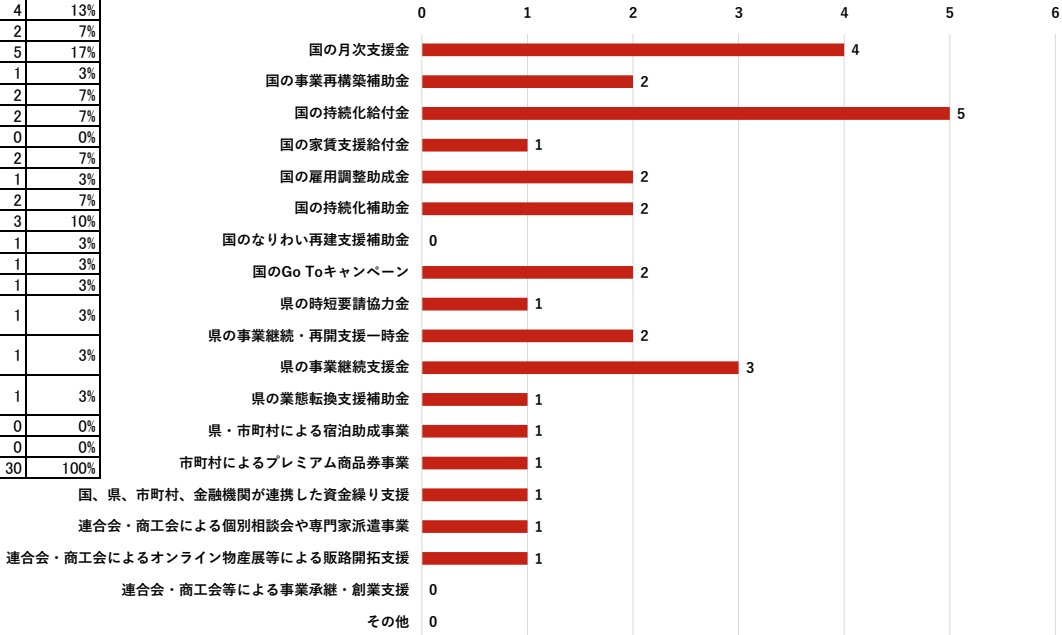


Q10ー1 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。

支援策	件数	構成比
国の月次支援金	4	13%
国の事業再構築補助金	2	7%
国の持続化給付金	5	17%
国の家賃支援給付金	1	3%
国の雇用調整助成金	2	7%
国の持続化補助金	2	7%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGo Toキャンペーン	2	7%
県の時短要請協力金	1	3%
県の事業継続・再開支援一時金	2	7%
県の事業継続支援金	3	10%
県の業態転換支援補助金	1	3%
県・市町村による宿泊助成事業	1	3%
市町村によるプレミアム商品券事業	1	3%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	1	3%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	1	3%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	1	3%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
その他	0	0%
合計	30	100%

支援策の活用予定（期待）

（複数回答）



第8回「経営の影響追跡調査」（自由記載集計）

菊陽町

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・主力商品の変更

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・工事受注の減少
- ・休業が増えたため

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・令和元年10月開業のため、令和元年5月の売上は0円
- ・ゴールデンウィークとバーベキューでの売上
- ・主力商品の変更
- ・コロナの影響はなかった

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・コロナの影響で家が建たない
- ・コロナのため

Q9-2 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）で【18. その他】を選択された方は、その内容を教えてください。

- ・惣菜・飲食への業態転換
- ・活用なし
- ・レトルト加工

Q9-3 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既にどのように活用したか、事業継続にどのような効果があったか等について具体的に教えてください。

- ・現在、建築中
- ・ものづくり補助金
- ・コロナ対策
- ・設備投資

Q10-2 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）で【19. その他】を選択された方は、その内容を教えてください。

- ・食肉処理・加工

Q10-3 支援策をどのように活用予定か・期待しているか・その要件や手続き等の改善点等について具体的に教えてください。

- ・従業員に生活維持
- ・工場建築
- ・運営支援金を期待している金融の利子補助
- ・設備投資

Q11 コロナ禍が一年以上継続する中で、今後の事業継続に向けて国・県・市町村の感染症対策に対する意見や要望をご記入ください。

- ・子どもから大人まで安心できる環境
- ・一般の方の安心につながるように
- ・補助金・助成金の充実
- ・早くワクチン接種を終わらせるべき

Q12 コロナ禍が一年以上継続する中で、今後の事業継続に向けて国・県・市町村・金融機関・商工会の事業者支援策に対する意見や要望をご記入ください。

- ・持続できるような補助、売上をサポートできるもの
- ・運営しやすい状態ができるとよい
- ・まず、利子補助の延長をお願いした
- ・今も営業が続けられるのは、支援策のおかげです。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症に係る「第10回経営への影響追跡調査」調査票

Q1 商工会名を記載してください。

_____ 商工会

Q2 貴者の業種を教えてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 製造業 | 2. 建設業 | 3. 運輸業 |
| 4. 卸売業 | 5. 小売業 | 6. 宿泊業 |
| 7. 飲食業 | 8. サービス業 | |

Q3-1 従業員数

_____ 人

Q3-2 うち家族数

_____ 人

Q4 創業何年目ですか。

_____ 年

Q5-1 貴者の今年（令和3年）9月の売上高は、感染第2波が落ち着き GoTo トラベルが展開されていた1年前の令和2年9月を「100」とすると、どの程度でしたか。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ 100超 | ☐ 100 | ☐ 90 | ☐ 80 | ☐ 70 | ☐ 60 | ☐ 50 |
| ☐ 40 | ☐ 30 | ☐ 20 | ☐ 10 | ☐ 0 | | |

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

--

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

--

Q6-1 貴者の今年（令和3年）9月の売上高は、コロナ禍の前で消費税増税直前でもあった
2年前の令和元年9月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を
選択された方

Q7-1 貴者の今年（令和3年）9月の売上高は、第5波が急拡大して2回目の「まん延防止等
重点措置」が適用されていた令和3年8月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を
を選択された方

Q8 貴者の9月末時点での操業状況について教えてください。

1. 通常どおり 2. 一部休業中 3. 全面休業中 4. 廃業予定

Q9-1 9月末時点のような状況が続いた場合の1ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-2 9月末時点のような状況が続いた場合の3ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-3 9月末時点のような状況が続いた場合の6ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-4-1 9月末時点のような状況が続いた場合の1年後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-4-2 Q9-4-1で、1年後に【4. 廃業も検討せざるを得ない】を選択された方のみ、お尋ねします。「1年後に廃業を検討せざるを得ない」を選択された理由を具体的に教えてください。

(複数回答可)

1. コロナ禍により将来の見通しが立たないため
2. 経営者が高齢であり、後継者もないため
3. 赤字に転落する前に見切りをつけたい
4. 倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい
5. 元々廃業する予定であったため
6. 将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため
7. 熊本地震の影響が大きいため
8. 令和2年7月豪雨の影響が大きいため

Q10-1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

- 1. 国の一時支援金
- 2. 国の事業再構築補助金
- 3. 国の持続化給付金
- 4. 国の家賃支援給付金
- 5. 国の雇用調整助成金
- 6. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
- 7. 国の持続化補助金
- 8. 国のなりわい再建支援補助金
- 9. 国の Go To キャンペーン
- 10. 県の時短要請協力金
- 11. 県の事業継続・再開支援一時金
- 12. 県の事業継続支援金
- 13. 県の業態転換支援補助金
- 14. 県の飲食店感染防止対策認証制度
- 15. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金
- 16. 県・市町村による宿泊助成事業
- 17. 市町村によるプレミアム商品券事業
- 18. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
- 19. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
- 20. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
- 21. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
- 22. 活用なし
- 23. 国の月次支援金

Q10-2 それぞれの支援策をどのように活用したか、事業継続にどのような効果があったか等について具体的に教えてください。

--

Q11-1 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）

1. 国の月次支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の持続化給付金
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
7. 国の持続化補助金
8. 国のなりわい再建支援補助金
9. 国の Go To キャンペーン
10. 県の時短要請協力金
11. 県の事業継続・再開支援一時金
12. 県の事業継続支援金
13. 県の業態転換支援補助金
14. 県の飲食店感染防止対策認証制度
15. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等支援補助金
16. 県・市町村による宿泊助成事業
17. 市町村によるプレミアム商品券事業
18. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
19. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
20. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
21. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
22. 期待しない

Q11-2 それぞれの支援策をどのように活用予定か、期待しているかについて具体的に教えてください。

--

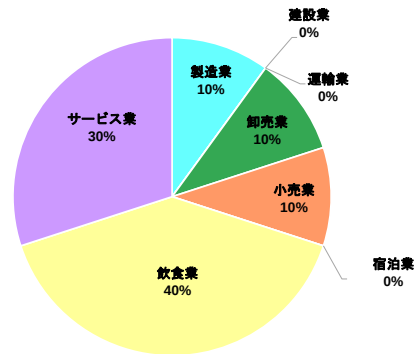
Q12 9月末で「まん延防止等重点措置」が解除される中で、10月1日～14日を「医療を守る行動強化期間」として、熊本市を中心とした対策が継続されることになりましたが、新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の国・県・市町村等の取り組み（感染症対策と経済活動の両立、行動制限の緩和、ワクチンパスポート導入、認証制度、時短協力金等）について意見や要望をご記入ください。

Q13 その他、国・県・市町村・金融機関・商工会に対する意見や要望をご記入ください。

Q2業種

業種	件数	構成比
製造業	1	10%
建設業	0	0%
運輸業	0	0%
卸売業	1	10%
小売業	1	10%
宿泊業	0	0%
飲食業	4	40%
サービス業	3	30%
合計	10	100%

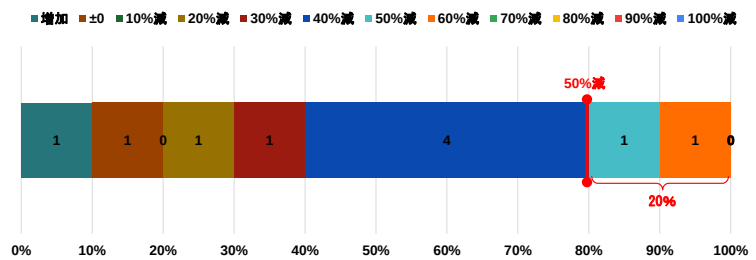
調査業種構成比



Q5-1 令和3年9月の売上高は前年同月比どの程度か

景況感		件数	構成比
100超	増加	1	10%
100	±0	1	10%
90	10%減	0	0%
80	20%減	1	10%
70	30%減	1	10%
60	40%減	4	40%
50	50%減	1	10%
40	60%減	1	10%
30	70%減	0	0%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			20%

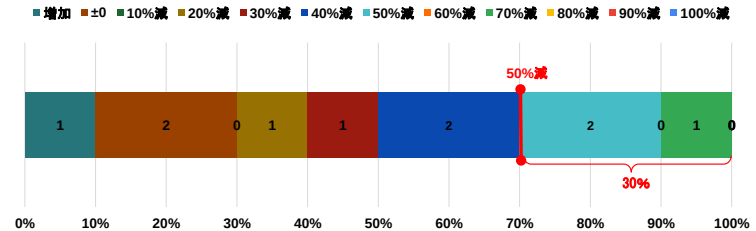
令和3年9月売上高は前年同月の売上高の比較



Q6-1 令和3年9月の売上高は2年前同月比どの程度か

景況感		件数	構成比
100超	増加	1	10%
100	±0	2	20%
90	10%減	0	0%
80	20%減	1	10%
70	30%減	1	10%
60	40%減	2	20%
50	50%減	2	20%
40	60%減	0	0%
30	70%減	1	10%
20	80%減	0	0%
10	90%減	0	0%
0	100%減	0	0%
合計		10	100%
0-50			30%

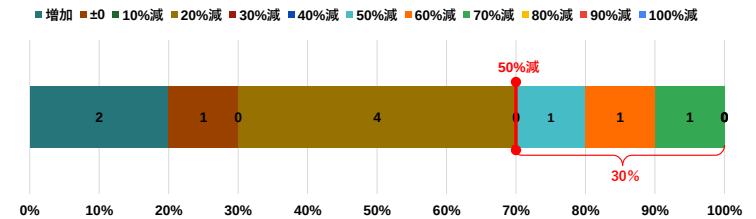
令和3年9月と2年前同月の売上高の比較



Q7-1 令和3年8月と同年9月との売上高の比較

景況感		件数		構成比	
100超	増加	2		20%	
100	±0	1		10%	
90	10%減	0		0%	
80	20%減	4		40%	
70	30%減	0		0%	
60	40%減	0		0%	
50	50%減	1		10%	
40	60%減	1		10%	
30	70%減	1		10%	
20	80%減	0		0%	
10	90%減	0		0%	
0	100%減	0		0%	
合計		10		100%	
0-50					30%

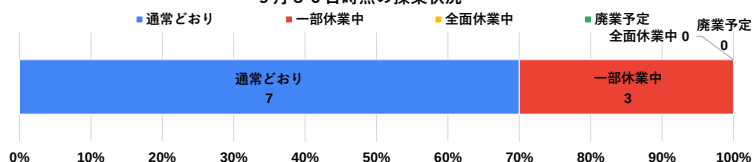
令和3年8月と同年9月の売上高の比較



Q8 操業状況

操業状況	件数	構成比
通常どおり	7	70%
一部休業中	3	30%
全面休業中	0	0%
廃業予定	0	0%
合計	10	100%

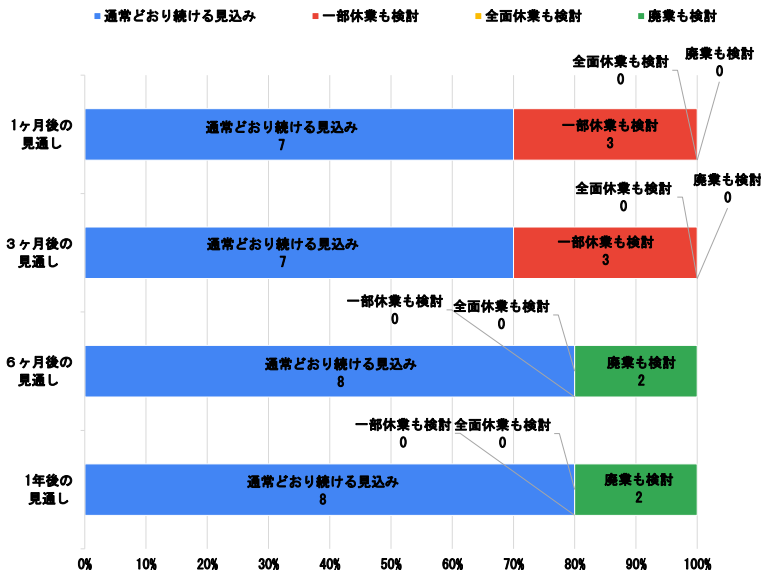
9月30日時点の操業状況



Q9-1 1ヶ月後の見通しについて

1ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	7	70%
一部休業も検討せざるを得ない	3	30%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

今後の見通し



Q9-2 3ヶ月後の見通し

3ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	7	70%
一部休業も検討せざるを得ない	3	30%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q9-3 6ヶ月後の見通し

6ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	8	80%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	2	20%
合計	10	100%

Q9-4-1 1年後の見通し

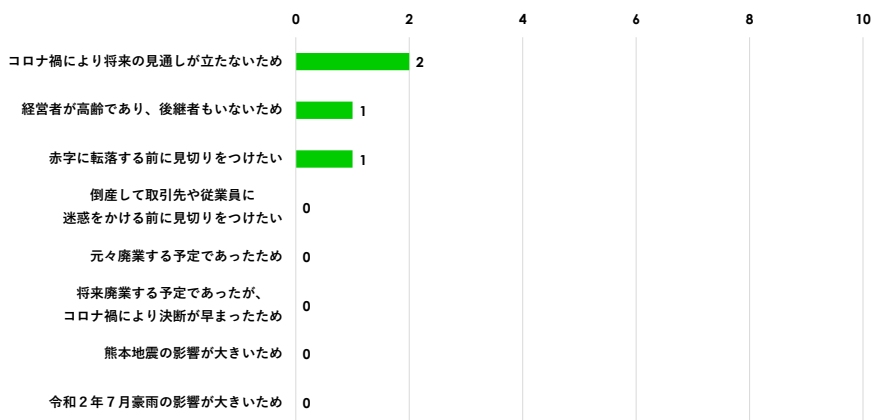
1年後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	8	80%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	2	20%
合計	10	100%

Q9-4-2 1年後に廃業を検討せざるを得ない理由(複数回答)

1年後に廃業を検討する理由	件数	構成比
コロナ禍により将来の見通しが立たないため	2	50%
経営者が高齢であり、後継者もいないため	1	25%
赤字に転落する前に見切りをつけたい	1	25%
倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい	0	0%
元々廃業する予定であったため	0	0%
将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため	0	0%
熊本地震の影響が大きい	0	0%
令和2年7月豪雨の影響が大きい	0	0%
合計	4	100%

1年後廃業を検討する理由

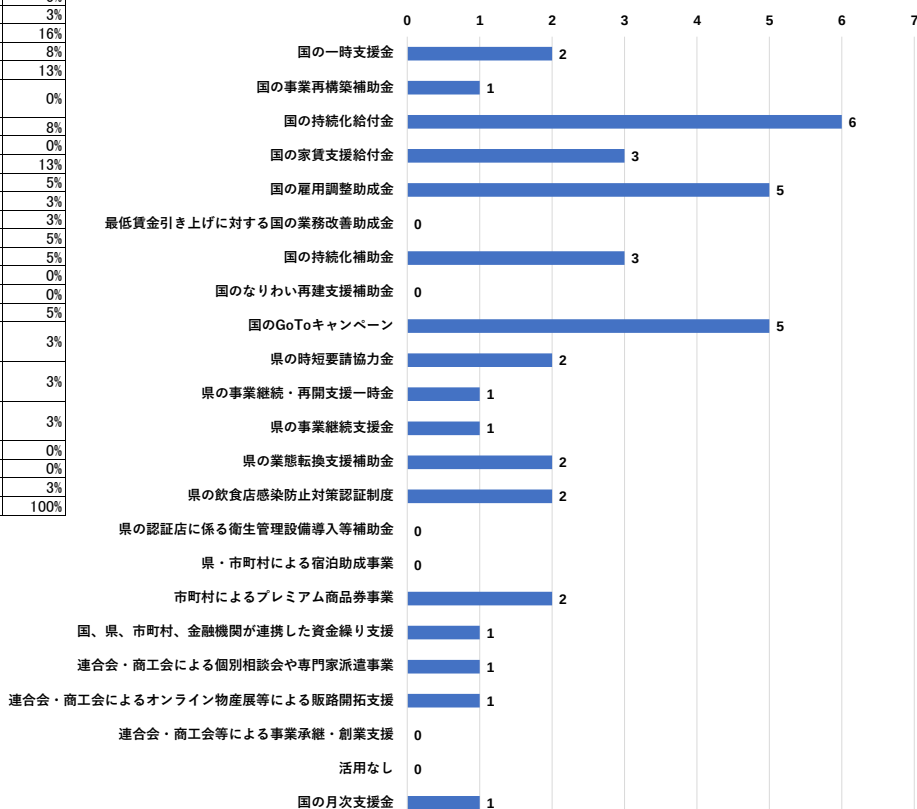
(複数回答)



Q10-1 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答）

支援策	件数	構成比
国の一時支援金	2	5%
国の事業再構築補助金	1	3%
国の持続化給付金	6	16%
国の家賃支援給付金	3	8%
国の雇用調整助成金	5	13%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	0	0%
国の持続化補助金	3	8%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGoToキャンペーン	5	13%
県の時短要請協力金	2	5%
県の事業継続・再開支援一時金	1	3%
県の事業継続支援金	1	3%
県の業態転換支援補助金	2	5%
県の飲食店感染防止対策認証制度	2	5%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	0	0%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	2	5%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	1	3%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	1	3%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	1	3%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
活用なし	0	0%
国の月次支援金	1	3%
合計	38	100%

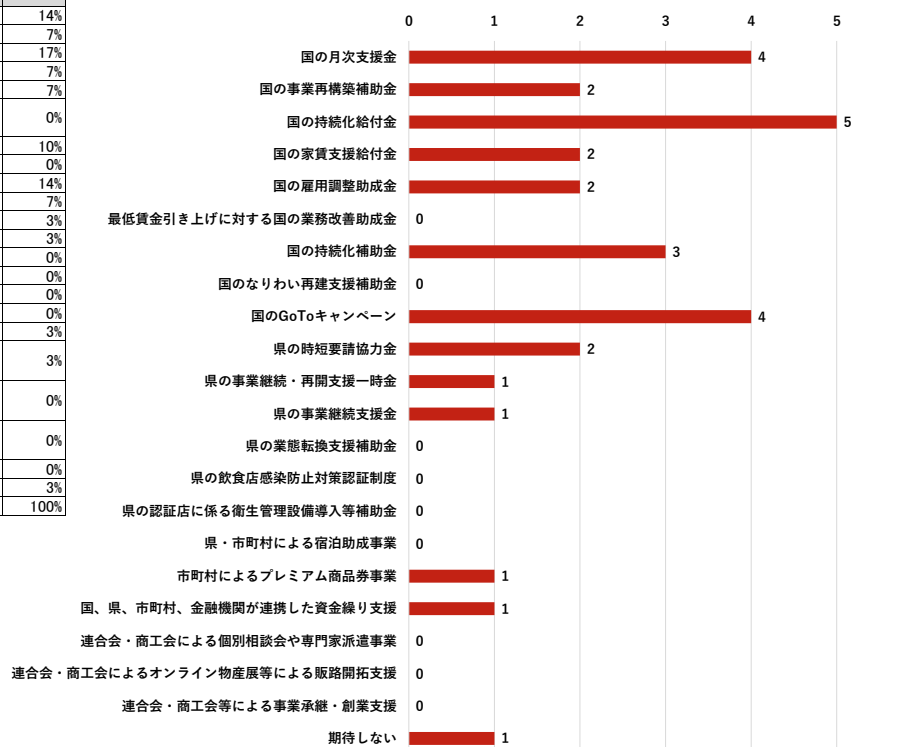
支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）（複数回答）



Q11-1 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。

支援策	件数	構成比
国の月次支援金	4	14%
国の事業再構築補助金	2	7%
国の持続化給付金	5	17%
国の家賃支援給付金	2	7%
国の雇用調整助成金	2	7%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	0	0%
国の持続化補助金	3	10%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGoToキャンペーン	4	14%
県の時短要請協力金	2	7%
県の事業継続・再開支援一時金	1	3%
県の事業継続支援金	1	3%
県の業態転換支援補助金	0	0%
県の飲食店感染防止対策認証制度	0	0%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	0	0%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	1	3%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	1	3%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	0	0%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
期待しない	1	3%
合計	29	100%

支援策の活用予定（期待）（複数回答）



第10回「経営の影響追跡調査」（自由記載集計）

菊陽市

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・GoTo トラベルの効果がない業種のため
- ・おせち商材需要増による製造の前倒し、売掛金の早期回収

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・コロナの関係で客足が遠のく
- ・コロナ関係
- ・営業時間の短縮（まん延防止等により）

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・影響がなかったため
- ・開業前だったため

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・コロナ
- ・コロナ関係
- ・コロナにより、まん延防止となり営業日、時間ともに減少した

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・影響がなかったため
- ・新規取引先の増加
- ・栗の販売が増えたから

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

- ・コロナ
- ・コロナ関係
- ・卸、一般がどちらも減少したから

Q10-2 それぞれの支援策をどのように活用したか、事業継続にどのような効果があったか等について具体的に教えてください。

- ・設備強化に活用させて頂いた
- ・事業のつなぎ資金
- ・何とか事業継続ができてるのは、商工会で色々対応してくれたため

Q11-2 それぞれの支援策をどのように活用予定か・期待しているかについて具体的に教えてください。

- ・さらなる設備強化、IT化
- ・IT化
- ・今後のつなぎ資金、事業拡大による設備導入等の運転資金
- ・コロナの終息が見えれば、何とか事業継続が見えてきます

Q12 9月末で「まん延防止等重点措置」が解除される中で、10月1日～14日を「医療を守る行動強化期間」として、熊本市を中心とした対策が継続されることになりましたが、新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の国・県・市町村等の取り組み（感染症対策と経済活動の両立、行動制限の緩和、ワクチンパスポート導入、認証制度、時短協力金等）について意見や要望をご記入ください。

常連様がワクチンパスポートも直近のPCR検査結果も持っていないくて断るなど出来ない。大変な時に支えてくださった方達です。

- ・ワクチンパスポートは、あってもいいと思う
- ・ワクチンパスポート導入希望
- ・卸問屋、メーカー等の間接取引会社への協力金の拡充
- ・風俗営業は、まだ通常営業には早いと思われます

Q13 その他、国・県・市町村・金融機関・商工会に対する意見や要望をご記入ください。

- ・追加融資等の条件緩和
- ・商工会は全ての点で相談窓口となっており、助かっています

新型コロナウイルス感染症に係る「第11回経営への影響追跡調査」調査票

Q1 商工会名を記載してください。

_____ 商工会

Q2 貴者の業種を教えてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 製造業 | 2. 建設業 | 3. 運輸業 |
| 4. 卸売業 | 5. 小売業 | 6. 宿泊業 |
| 7. 飲食業 | 8. サービス業 | |

Q3-1 従業員数

_____ 人

Q3-2 うち家族数

_____ 人

Q4 創業何年目ですか。

_____ 年

Q5-1 貴者の今年（令和3年）11月の売上高は、1年前にGoToトラベル・イート等が展開されていた令和2年11月を「100」とすると、どの程度でしたか。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ 100超 | ☐ 100 | ☐ 90 | ☐ 80 | ☐ 70 | ☐ 60 | ☐ 50 |
| ☐ 40 | ☐ 30 | ☐ 20 | ☐ 10 | ☐ 0 | | |

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q6-1 貴者の今年（令和3年）11月の売上高は、コロナ禍前で2年前の消費税増税直後の令和元年11月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q7-1 貴者の今年（令和3年）11月の売上高は、2回目「まん延防止等重点措置」解除された先月10月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q8 貴者の11月末時点での操業状況について教えてください。

1. 通常どおり 2. 一部休業中 3. 全面休業中 4. 廃業予定

Q9-1 11月末時点のような状況が続いた場合の1ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-2 11月末時点のような状況が続いた場合の3ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-3 11月末時点のような状況が続いた場合の6ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-4-1 11月末時点のような状況が続いた場合の1年後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q9-4-2 Q9-4-1で、1年後に【4. 廃業も検討せざるを得ない】を選択された方のみ、お尋ねします。「1年後に廃業を検討せざるを得ない」を選択された理由を具体的に教えてください。

(複数回答可)

1. コロナ禍により将来の見通しが立たないため
2. 経営者が高齢であり、後継者もないため
3. 赤字に転落する前に見切りをつけたい
4. 倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい
5. 元々廃業する予定であったため
6. 将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため
7. 熊本地震の影響が大きい
8. 令和2年7月豪雨の影響が大きい

Q10-1 貴者の現時点での資金繰りの状況について教えてください。

1. 厳しい 2. やや厳しい 3. 変化なし 4. やや良い 5. 良い

Q10-2 Q10-1で【1.厳しい】、または【2. やや厳しい】を選択された方のみ、お尋ねします。

「厳しい」または「やや厳しい」を選択された理由を具体的に教えてください。

(複数回答可)

1. 売上が減少して回復していない
2. コロナ関連借入等により据え置きしていた元金返済が開始したため
3. 助成金・給付金・協力金等の収入が減少したため
4. 経費（人件・家賃・材料費など）の支払いが大きいため
5. 借入過多で返済負担が大きいため
6. 取引先との回収条件や支払条件が変わったため
7. 設備投資や事故等により特別な支払いが発生したため
8. 売掛債権が回収できなくなったため
9. 新たな借入が困難なため

Q11-1 10月20日に阿蘇中岳が噴火しましたが、直接的・間接的な影響はありましたか。

1. 大きな影響あり
2. やや影響あり
3. 影響なし

Q11-2 Q11-1で【1.大きな影響あり】または【2. やや影響あり】を選択された方は、その具体的な内容を教えてください。

また、行政や商工会に対する要望事項について教えてください。

--

Q12-1 原油高など原料費の上昇、円安等による経営への影響は出ていますか。

1. 大きな影響が出ている
2. やや影響が出ている
3. 影響なし
4. 売上増につながっている

Q12-2 Q12-1で【1.大きな影響が出ている】【2.やや影響が出ている】または【3.売上増につながっている】を選択された方は、その具体的な内容を教えてください。
また、国等に対する要望事項があれば教えてください。

Q13 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

1. 国の一時支援金
2. 国の月次支援金
3. 国の事業再構築補助金
4. 国の持続化給付金
5. 国の家賃支援給付金
6. 国の雇用調整助成金
7. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
8. 国の持続化補助金
9. 国のなりわい再建支援補助金
10. 国の Go To キャンペーン
11. 県の時短要請協力金
12. 県の事業継続・再開支援一時金
13. 県の事業継続支援金
14. 県の業態転換支援補助金
15. 県の飲食店感染防止対策認証制度
16. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金
17. 県・市町村による宿泊助成事業
18. 市町村によるプレミアム商品券事業
19. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
20. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
21. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
22. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
23. 活用なし

Q14 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）

1. 国の月次支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の事業復活支援金
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
7. 国の持続化補助金
8. 国のなりわい再建支援補助金
9. 国の Go To キャンペーン
10. 県の時短要請協力金
11. 県の事業継続・再開支援一時金
12. 県の業態転換支援補助金
13. 県の飲食店感染防止対策認証制度
14. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等支援補助金
15. 県・市町村による宿泊助成事業
16. 市町村によるプレミアム商品券事業
17. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
18. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
19. 連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援
20. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
21. 期待しない

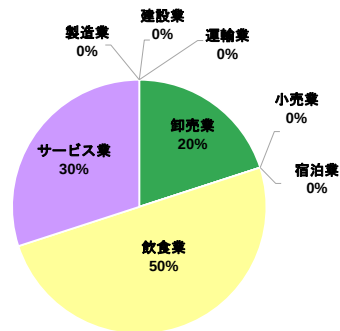
Q15 国・県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策や各種給付金・補助金・助成金・協力金等の事業者支援策、金融機関による資金融資、商工会による支援等に対する意見や要望をご記入ください。

--

Q2業種

業種	件数	構成比
製造業	0	0%
建設業	0	0%
運輸業	0	0%
卸売業	2	20%
小売業	0	0%
宿泊業	0	0%
飲食業	5	50%
サービス業	3	30%
合計	10	100%

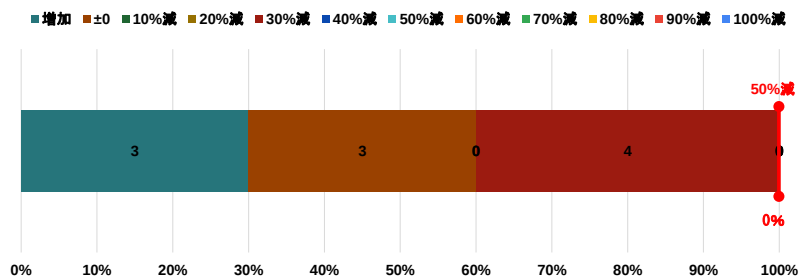
調査業種構成比



Q5-1 令和3年11月の売上高は前年同月比どの程度か

景況感	件数	構成比
100超	3	30%
100	3	30%
90	0	0%
80	0	0%
70	4	40%
60	0	0%
50	0	0%
40	0	0%
30	0	0%
20	0	0%
10	0	0%
0	0	0%
合計	10	100%
0-50		0%

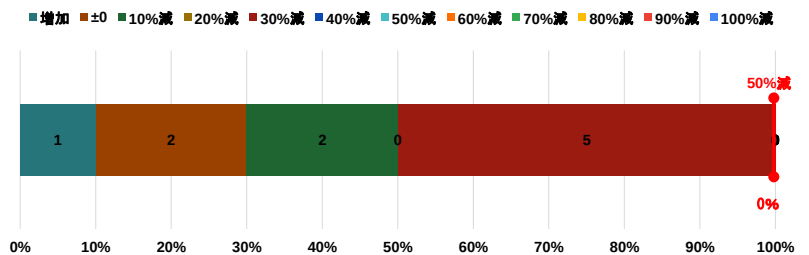
令和3年11月売上高と前年同月の売上高の比較



Q6-1 令和3年11月の売上高は2年前同月比どの程度か

景況感	件数	構成比
100超	1	10%
100	2	20%
90	2	20%
80	0	0%
70	5	50%
60	0	0%
50	0	0%
40	0	0%
30	0	0%
20	0	0%
10	0	0%
0	0	0%
合計	10	100%
0-50		0%

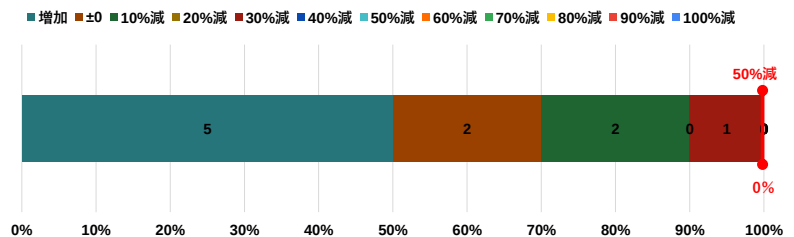
令和3年11月と2年前同月の売上高の比較



Q7-1 令和3年10月と同年11月の売上高の比較

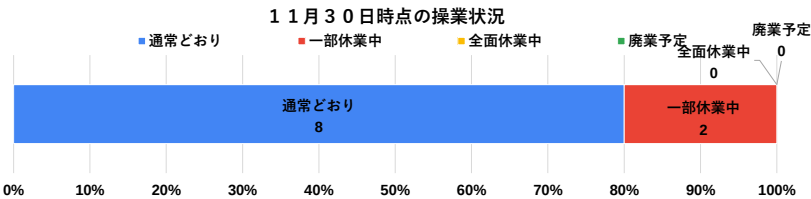
景況感	件数	構成比
100超	5	50%
100	2	20%
90	2	20%
80	0	0%
70	1	10%
60	0	0%
50	0	0%
40	0	0%
30	0	0%
20	0	0%
10	0	0%
0	0	0%
合計	10	100%
0-50		0%

令和3年10月と同年11月の売上高の比較



Q8 操業状況

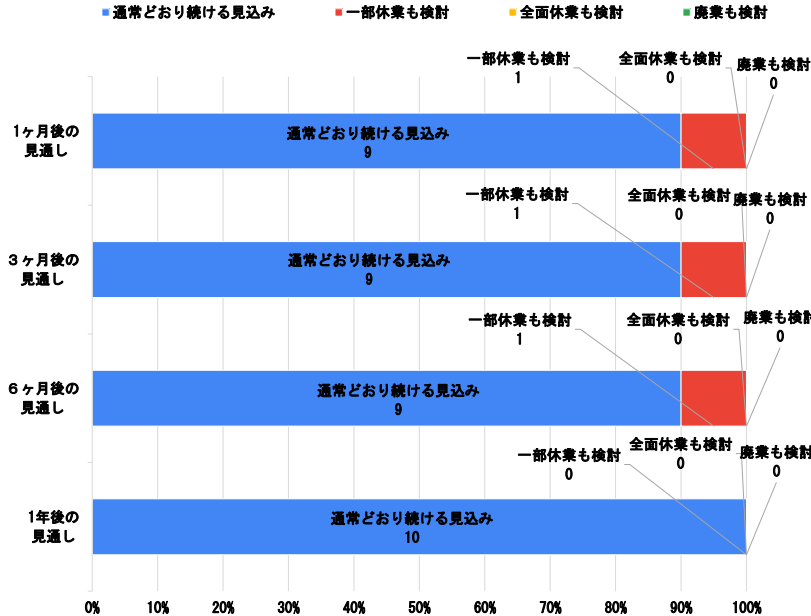
操業状況	件数	構成比
通常どおり	8	80%
一部休業中	2	20%
全面休業中	0	0%
廃業予定	0	0%
合計	10	100%



Q9-1 1ヶ月後の見通しについて

1ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

今後の見通し



Q9-2 3ヶ月後の見通し

3ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q9-3 6ヶ月後の見通し

6ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	1	10%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q9-4-1 1年後の見通し

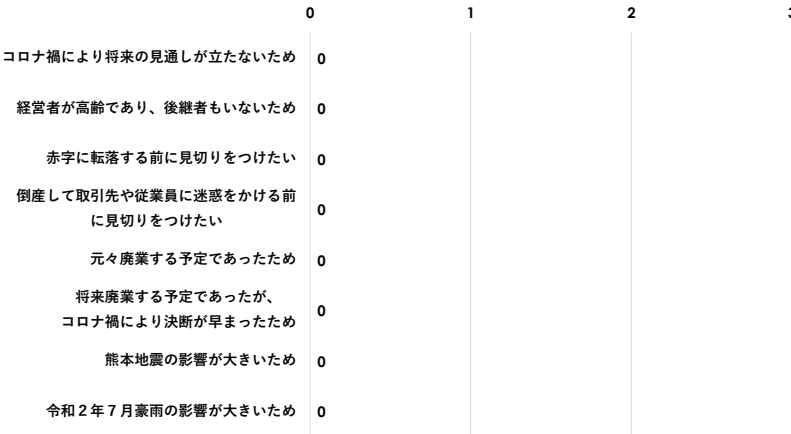
1年後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%

Q9-4-2 1年後に廃業を検討せざるを得ない理由(複数回答)

1年後に廃業を検討する理由	件数	構成比
コロナ禍により将来の見通しが立たないため	0	0%
経営者が高齢であり、後継者もいないため	0	0%
赤字に転落する前に見切りをつけた	0	0%
倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけた	0	0%
元々廃業する予定であったため	0	0%
将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため	0	0%
熊本地震の影響が大きいため	0	0%
令和2年7月豪雨の影響が大きいため	0	0%
合計	0	0%

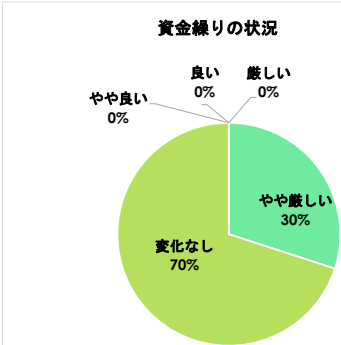
1 年後廃業を検討する理由

(複数回答)



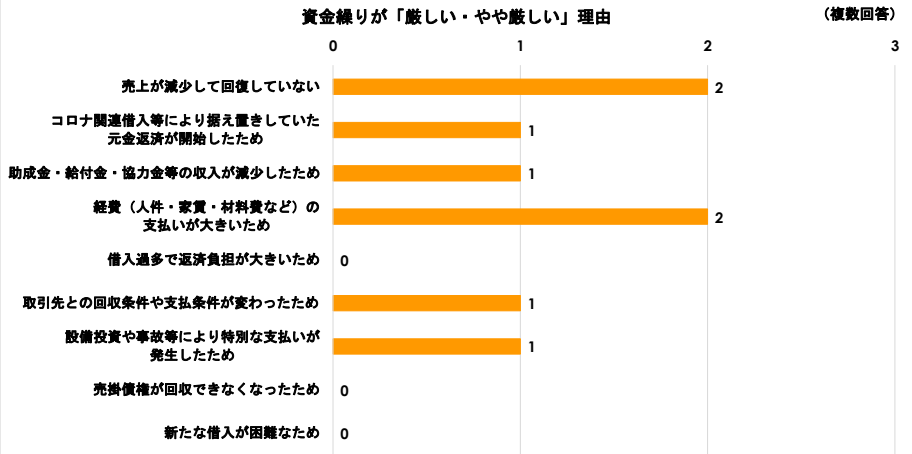
Q10-1 貴者の現時点での資金繰りの状況

資金繰りの状況	件数	構成比
厳しい	0	0%
やや厳しい	3	30%
変化なし	7	70%
やや良い	0	0%
良い	0	0%
集計	10	100%



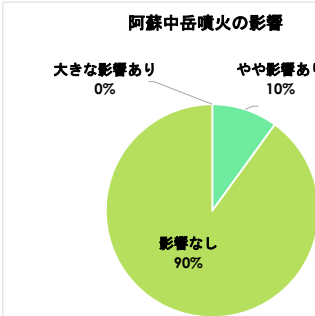
Q10-2 「厳しい」または「やや厳しい」を選択した理由（複数回答可）

厳しい理由	件数	構成比
売上が減少して回復していない	2	25%
コロナ関連借入等により据え置きしていた元金返済が開始し	1	13%
助成金・給付金・協力金等の収入が減少したため	1	13%
経費（人件・家賃・材料費など）の支払いが大きいため	2	25%
借入過多で返済負担が大きいため	0	0%
取引先との回収条件や支払条件が変わったため	1	13%
設備投資や事故等により特別な支払いが発生したため	1	13%
売掛債権が回収できなくなったため	0	0%
新たな借入が困難なため	0	0%
集計	8	100%



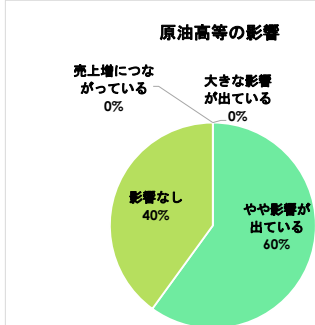
Q11-1 阿蘇中岳噴火の直接的・間接的な影響

噴火の影響	件数	構成比
大きな影響あり	0	0%
やや影響あり	1	10%
影響なし	9	90%
集計	10	100%



Q12-1 原油高など原料費の上昇、円安等による経営への影響

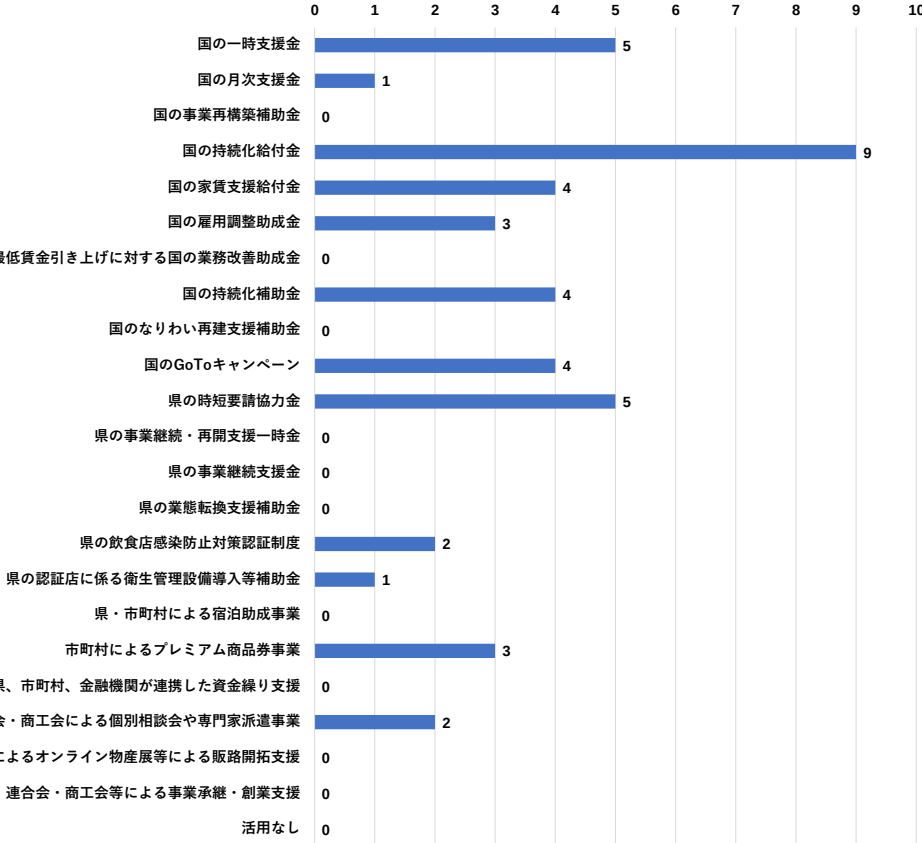
原油高等の影響	件数	構成比
大きな影響が出ている	0	0%
やや影響が出ている	6	60%
影響なし	4	40%
売上増につながっている	0	0%
集計	10	100%



Q13 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

支援策	件数	構成比
国の一時支援金	5	12%
国の月次支援金	1	2%
国の事業再構築補助金	0	0%
国の持続化給付金	9	21%
国の家賃支援給付金	4	9%
国の雇用調整助成金	3	7%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	0	0%
国の持続化補助金	4	9%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGoToキャンペーン	4	9%
県の時短要請協力金	5	12%
県の事業継続・再開支援一時金	0	0%
県の事業継続支援金	0	0%
県の業態転換支援補助金	0	0%
県の飲食店感染防止対策認証制度	2	5%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	1	2%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	3	7%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	0	0%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	2	5%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
活用なし	0	0%
合計	43	100%

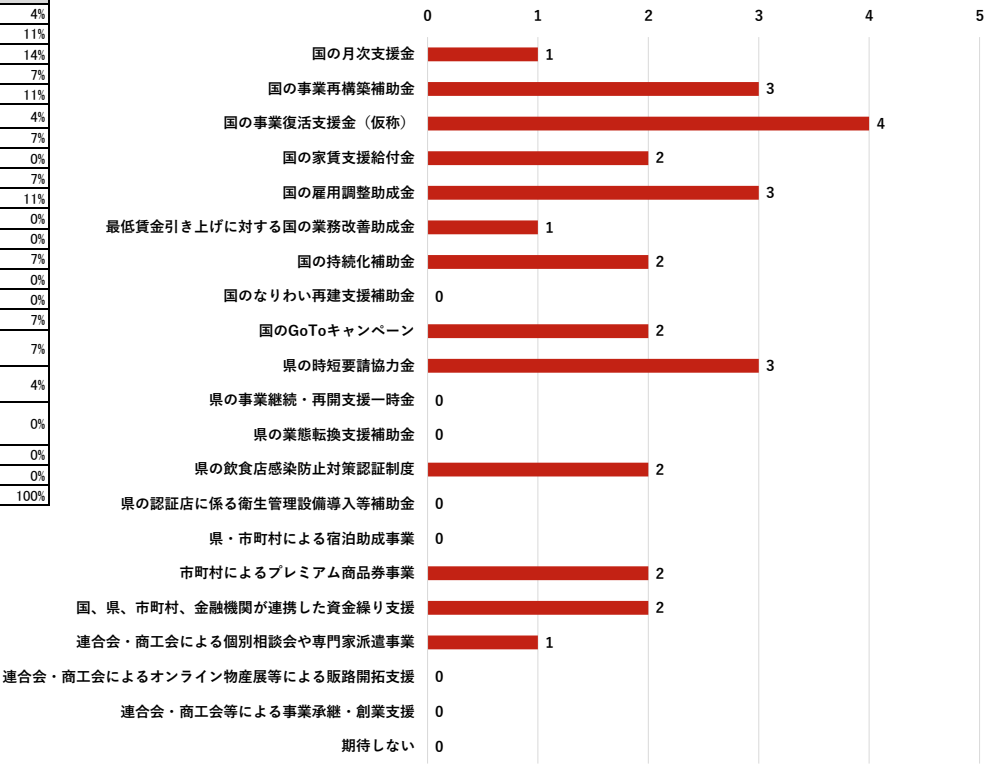
支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）（複数回答）



Q14 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。

支援策	件数	構成比
国の月次支援金	1	4%
国の事業再構築補助金	3	11%
国の事業復活支援金（仮称）	4	14%
国の家賃支援給付金	2	7%
国の雇用調整助成金	3	11%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	1	4%
国の持続化補助金	2	7%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGoToキャンペーン	2	7%
県の時短要請協力金	3	11%
県の事業継続・再開支援一時金	0	0%
県の業態転換支援補助金	0	0%
県の飲食店感染防止対策認証制度	2	7%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	0	0%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	2	7%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	2	7%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	1	4%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
期待しない	0	0%
合計	28	100%

支援策の活用予定（期待）（複数回答）



第 11 回「経営の影響追跡調査」（自由記載集計）

菊陽町

Q5－2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・国内のビジネスには特に影響がなかったため
- ・SNS の活用（客）
- ・来店増加
- ・緊急事態宣言が終わり、コロナの感染状況が落ち着いたため
- ・コロナが落ち着いているから

Q5－3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・記載なし

Q6－2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・開店直後であるため
- ・Q5 と同じ
- ・SNS の活用（客）

Q6－3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・該当なし

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

- ・お客様の動きが多くなったため
- ・業態転換でプラス売上
- ・Q5と同じ
- ・季節によるので
- ・SNSの活用（客）
- ・来店増
- ・緊急事態宣言が終わり、コロナの感染状況が落ち着いたため

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

- ・該当なし

Q11-2 それぞれの支援策をどのように活用予定か・期待しているかについて具体的に教えてください。

- ・人の動きが悪い

Q12-2 Q12-1で【1.大きな影響が出ている】【2.やや影響が出ている】または【3.売上増につながっている】を選択された方は、その具体的な内容を教えてください。また、国等に対する要望事項があれば教えてください。

- ・原料価格が上がり利益が減った
- ・材料費があがっているため
- ・材料費の高騰
- ・材料費増
- ・原材料費の上昇を価格に転嫁できないため、利益を圧迫している
- ・ガソリン代上昇による、経費増加

Q15 国・県・市町村による新型コロナウイルス感染症対策や各種給付金・補助金・助成金・協力金等の事業者支援策、金融機関による資金融資、商工会による支援等に対する意見や要望をご記入ください。

- ・該当なし

新型コロナウイルス感染症に係る「第12回経営への影響調査」調査票

Q1 商工会名を記載してください。

_____ 商工会

Q2 貴者の業種を教えてください。

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1. 製造業 | 2. 建設業 | 3. 運輸業 |
| 4. 卸売業 | 5. 小売業 | 6. 宿泊業 |
| 7. 飲食業 | 8. サービス業 | |

Q3-1 従業員数

_____ 人

Q3-2 うち家族数

_____ 人

Q4 創業何年目ですか。

_____ 年

Q5-1 貴者の今年（令和4年）1月の売上高は、第3波の感染拡大で時短要請や県独自の緊急事態宣言が出されていた1年前（令和3年）1月を「100」とすると、どの程度でしたか。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ☐ 100超 | ☐ 100 | ☐ 90 | ☐ 80 | ☐ 70 | ☐ 60 | ☐ 50 |
| ☐ 40 | ☐ 30 | ☐ 20 | ☐ 10 | ☐ 0 | | |

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q6-1 貴者の今年（令和4年）1月の売上高は、コロナ禍直前の令和2年1月を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q7-1 貴者の今年（令和4年）1月の売上高は、感染が落ち着いていた先月（12月）を「100」とすると、どの程度でしたか。

☐100超 ☐100 ☐90 ☐80 ☐70 ☐60 ☐50
☐40 ☐30 ☐20 ☐10 ☐0

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超、100】を選択された方

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

Q8-1 貴者の昨年（令和3年）1年間の売上高を「100」とすると、今年（令和4年）1年間の売上高（見込み）はどの程度を予想されていますか。

- ☐ 200以上 ☐ 150以上～200未満 ☐ 100超～150未満 ☐ 100
☐ 50以上～100未満 ☐ 50未満

Q8-2 売上高が100以上と予想する理由は何ですか。【200以上、150以上～200未満、100超～150未満、100】を選択された方
（複数回答可）

1. コロナ禍の収束 2. 個人消費の回復 3. 業態転換・事業再構築の進展
4. 公共投資・民間設備投資の増加 5. EC（電子商取引）等デジタル化の推進
6. 外国人労働者を含む人材確保の適正化 7. その他（次の欄へ具体的に記入）

--

Q8-3 売上高が100未満と予想する理由は何ですか。【50以上～100未満、50未満】を選択された方
（複数回答可）

1. コロナ禍の拡大（未収束） 2. 個人消費の落ち込み 3. 自社の廃業・事業縮小
4. 公共投資・民間設備投資の減少 5. 原油高、原材料費の上昇、円安
6. 少子高齢化・人口減少の影響 7. その他（次の欄へ具体的に記入）

--

Q9-1 貴者において、コロナ禍前（平成31年～令和元年）の年間売上高を回復する時期は、いつ頃を予想されていますか。

1. 既に回復している 2. 今年（令和4年）前半（1月～6月）
3. 今年（令和4年）後半（7月～12月） 4. 来年（令和5年）
5. 3～5年間は回復しない 6. コロナ禍前の回復は見込めない

Q9-2 Q9-1で売上高（見込み）回復する時期をそれぞれ選択された理由を具体的に教えてください。

--

Q10 貴者の1月末時点での操業状況について教えてください。

1. 通常どおり 2. 一部休業中 3. 全面休業中 4. 廃業予定

Q11-1 1月末時点のような状況が続いた場合の6ヶ月後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q11-2-1 1月末時点のような状況が続いた場合の1年後の見通しについて教えてください。

1. 通常どおり続ける見込み 2. 一部休業も検討せざるを得ない 3. 全面休業も検討せざるを得ない
4. 廃業も検討せざるを得ない

Q11-2-2 Q11-2-1で、1年後に【4. 廃業も検討せざるを得ない】を選択された方のみ、
お尋ねします。「1年後に廃業を検討せざるを得ない」を選択された理由を具体的に教えてください。

(複数回答可)

1. コロナ禍により将来の見通しが立たないため
2. 経営者が高齢であり、後継者もないため
3. 赤字に転落する前に見切りをつけたい
4. 倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけたい
5. 資金繰りが苦しいため
6. 将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため
7. 熊本地震の影響が大きい
8. 令和2年7月豪雨の影響が大きい
9. 原油高・原材料高等の影響が大きい

Q12-1 原油高など原料費の上昇、円安等による経営への影響は出ていますか。

1. 大きな影響が出ている
2. やや影響が出ている
3. 影響なし
4. 売上増につながっている

Q12-2 Q12-1で【1.大きな影響が出ている】【2.やや影響が出ている】または【3.売上増につながっている】を選択された方は、その具体的な内容を教えてください。
また、国等に対する要望事項があれば教えてください。

Q13 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの（事業継続に効果があったもの）は何ですか。（複数回答可）

1. 国の一時支援金
2. 国の月次支援金
3. 国の事業再構築補助金
4. 国の持続化給付金
5. 国の家賃支援給付金
6. 国の雇用調整助成金
7. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
8. 国の持続化補助金
9. 国のなりわい再建支援補助金
10. 国の Go To キャンペーン
11. 県の時短要請協力金
12. 県の事業継続・再開支援一時金
13. 県の事業継続支援金
14. 県の業態転換支援補助金
15. 県の飲食店感染防止対策認証制度
16. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金
17. 県・市町村による宿泊助成事業
18. 市町村によるプレミアム商品券事業
19. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
20. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
21. 連合会・商工会による EC（電子商取引）等販路開拓支援
22. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
23. 活用なし

Q14 今後どのような支援策の活用を予定（期待）しますか。（複数回答可）

1. 国の月次支援金
2. 国の事業再構築補助金
3. 国の事業復活支援金（国の持続化給付金に代わる新規支援策）
4. 国の家賃支援給付金
5. 国の雇用調整助成金
6. 最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金
7. 国の持続化補助金
8. 国のなりわい再建支援補助金
9. 国の Go To キャンペーン
10. 県の時短要請協力金
11. 県の事業継続・再開支援一時金
12. 県の業態転換支援補助金
13. 県の飲食店感染防止対策認証制度
14. 県の認証店に係る衛生管理設備導入等支援補助金
15. 県・市町村による宿泊助成事業
16. 市町村によるプレミアム商品券事業
17. 国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援
18. 連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業
19. 連合会・商工会による販路開拓支援
20. 連合会・商工会等による事業承継・創業支援
21. 期待しない

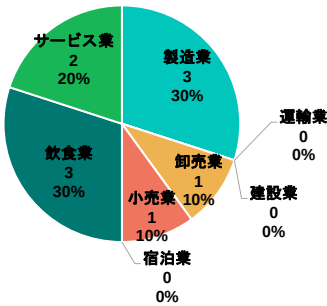
Q15 コロナ禍が2年近く続く中、国・県・市町村による「感染症対策と経済活動の両立」等の政策や、事業復活支援金、雇用調整助成金、持続化補助金、時短協力金等の各種事業者支援策、金融機関等による資金繰り支援、商工会による各種相談会等の支援に対する意見や要望があれば教えてください。

第12回『経営への影響追跡調査』報告書

菊陽町商工会

10 者

調査業種構成比



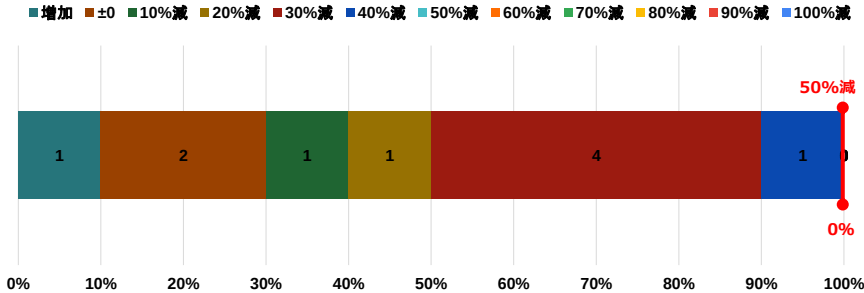
Q2業種

業種	件数	構成比
製造業	3	30%
建設業	0	0%
運輸業	0	0%
卸売業	1	10%
小売業	1	10%
宿泊業	0	0%
飲食業	3	30%
サービス業	2	20%
合計	10	100%

Q5-1 令和4年1月の売上高は前年同月比どの程度か

景況感	件数	構成比
100超 増加	1	10%
100 ±0	2	20%
90 10%減	1	10%
80 20%減	1	10%
70 30%減	4	40%
60 40%減	1	10%
50 50%減	0	0%
40 60%減	0	0%
30 70%減	0	0%
20 80%減	0	0%
10 90%減	0	0%
0 100%減	0	0%
合計	10	100%
0-50		0%

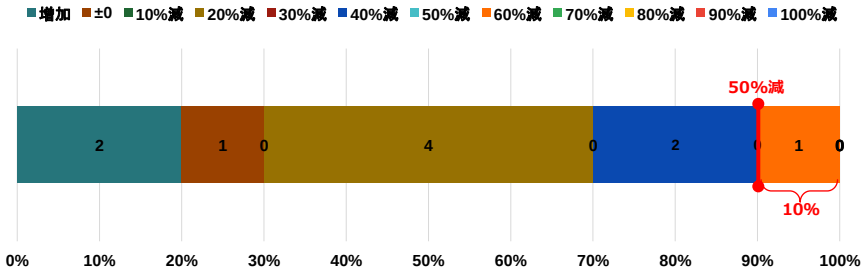
令和4年1月売上高と前年同月の売上高の比較



Q6-1 令和4年1月の売上高は2年前同月比どの程度か

景況感	件数	構成比
100超 増加	2	20%
100 ±0	1	10%
90 10%減	0	0%
80 20%減	4	40%
70 30%減	0	0%
60 40%減	2	20%
50 50%減	0	0%
40 60%減	1	10%
30 70%減	0	0%
20 80%減	0	0%
10 90%減	0	0%
0 100%減	0	0%
合計	10	100%
0-50		10%

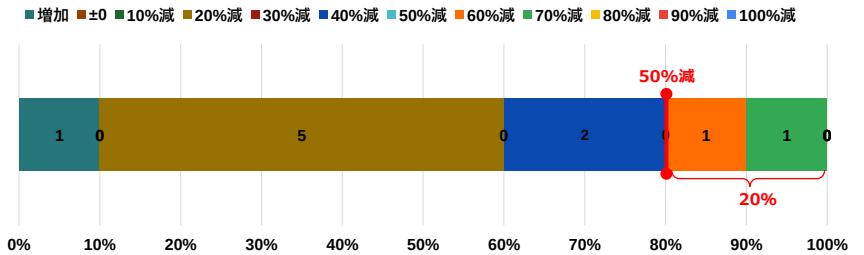
令和4年1月と2年前同月の売上高の比較



Q7-1 令和3年12月と令和4年1月との売上高の比較

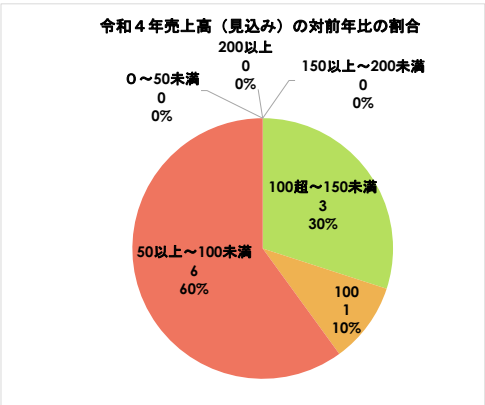
景況感	件数	構成比
100超 増加	1	10%
100 ±0	0	0%
90 10%減	0	0%
80 20%減	5	50%
70 30%減	0	0%
60 40%減	2	20%
50 50%減	0	0%
40 60%減	1	10%
30 70%減	1	10%
20 80%減	0	0%
10 90%減	0	0%
0 100%減	0	0%
合計	10	100%
0-50		20%

令和3年12月と令和4年1月の売上高の比較



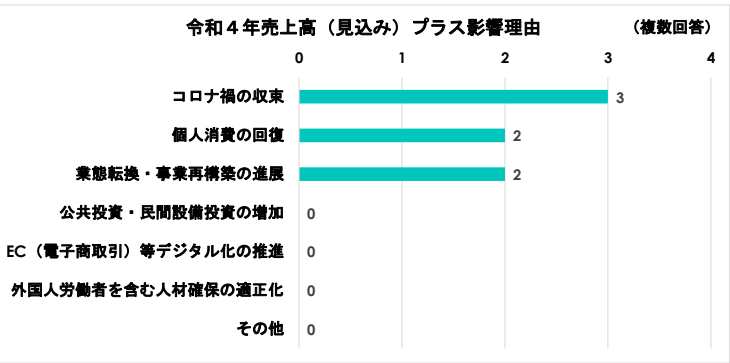
Q 8-1 令和3年と令和4年比較見込み

	比較見込み	件数	構成比
200以上	200以上	0	0%
150以上～200未満	150以上～200未満	0	0%
100超～150未満	100超～150未満	3	30%
100	100	1	10%
50以上～100未満	50以上～100未満	6	60%
50未満	0～50未満	0	0%
	集計	10	100%



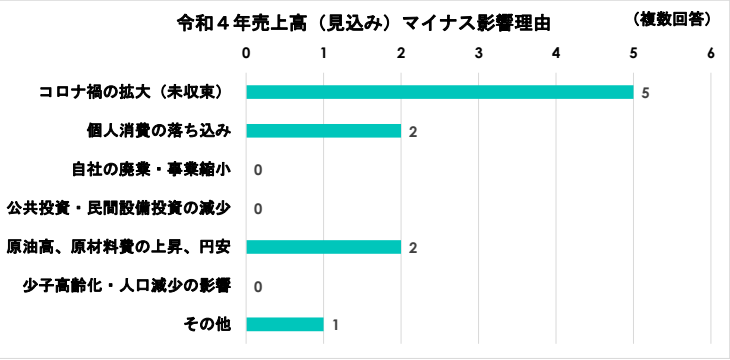
Q 8-2 100以上の理由（複数回答）

列1	100以上の理由	件数	構成比
1	コロナ禍の収束	3	43%
2	個人消費の回復	2	29%
3	業態転換・事業再構築の進展	2	29%
4	公共投資・民間設備投資の増加	0	0%
5	EC（電子商取引）等デジタル化の推進	0	0%
6	外国人労働者を含む人材確保の適正化	0	0%
7	その他	0	0%
	集計	7	100%



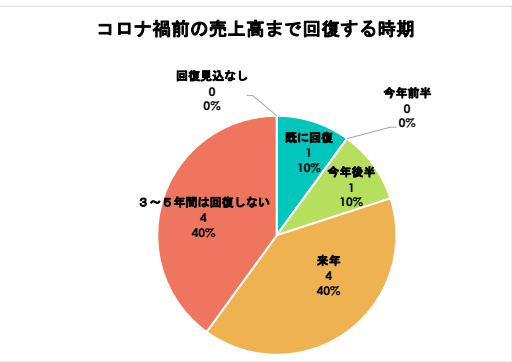
Q 8-3 100未満の理由（複数回答）

列1	100未満の理由	件数	構成比
1	コロナ禍の拡大（未収束）	5	50%
2	個人消費の落ち込み	2	20%
3	自社の廃業・事業縮小	0	0%
4	公共投資・民間設備投資の減少	0	0%
5	原油高、原材料費の上昇、円安	2	20%
6	少子高齢化・人口減少の影響	0	0%
7	その他	1	10%
	集計	10	100%



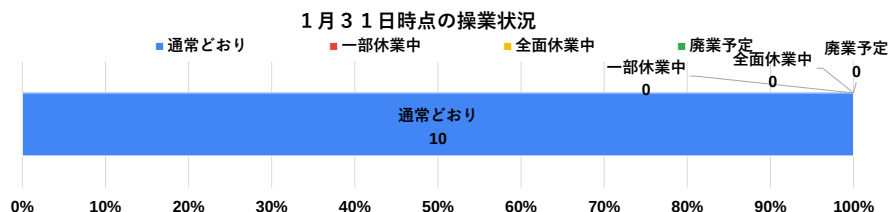
Q 9-1 売り上げが回復するのはいつ？

列1	回復の時期	件数	構成比
1	既に回復	1	10%
2	今年前半	0	0%
3	今年後半	1	10%
4	来年	4	40%
5	3～5年間は回復しない	4	40%
6	回復見込なし	0	0%
	集計	10	100%



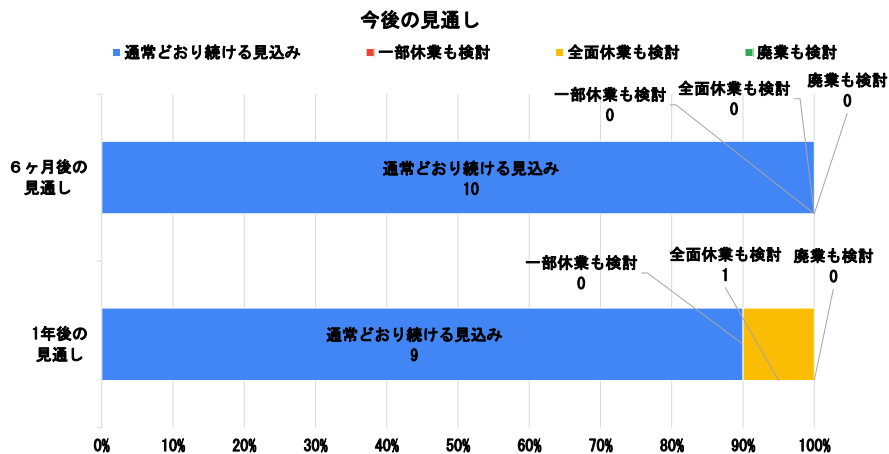
Q10 操業状況

操業状況	件数	構成比
通常どおり	10	100%
一部休業中	0	0%
全面休業中	0	0%
廃業予定	0	0%
合計	10	100%



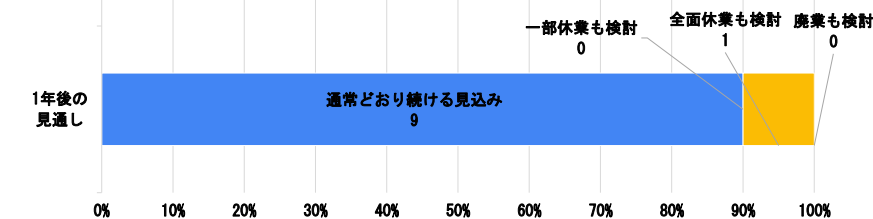
Q11-1 6ヶ月後の見通し

6ヶ月後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	10	100%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	0	0%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%



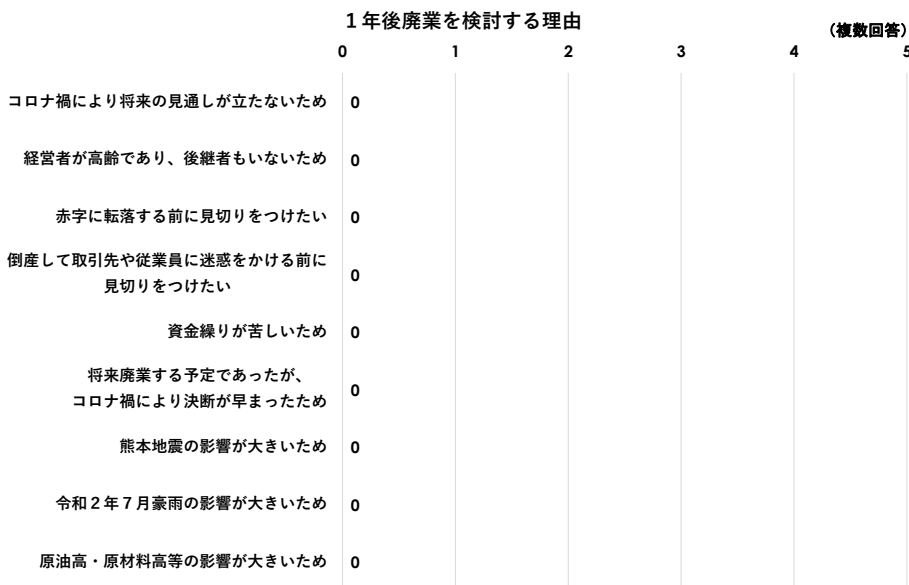
Q11-2-1 1年後の見通し

1年後の見通し	件数	構成比
通常どおり続ける見込み	9	90%
一部休業も検討せざるを得ない	0	0%
全面休業も検討せざるを得ない	1	10%
廃業も検討せざるを得ない	0	0%
合計	10	100%



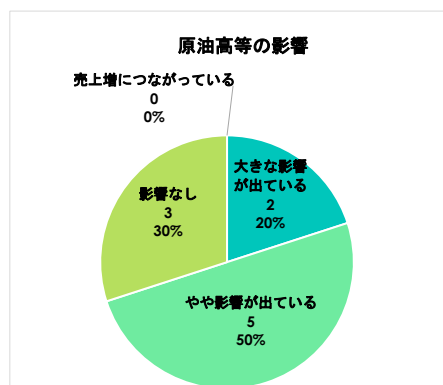
Q11-2-2 1年後に廃業を検討せざるを得ない理由(複数回答)

1年後に廃業を検討する理由	件数	構成比
コロナ禍により将来の見通しが立たないため	0	0%
経営者が高齢であり、後継者もないため	0	0%
赤字に転落する前に見切りをつけた	0	0%
倒産して取引先や従業員に迷惑をかける前に見切りをつけた	0	0%
資金繰りが苦しいため	0	0%
将来廃業する予定であったが、コロナ禍により決断が早まったため	0	0%
熊本地震の影響が大きいため	0	0%
令和2年7月豪雨の影響が大きいため	0	0%
原油高・原材料高等の影響が大きいため	0	0%
合計	0	0%



Q12-1 原油高など原料費の上昇、円安等による経営への影響

原油高等の影響	件数	構成比
大きな影響が出ている	2	20%
やや影響が出ている	5	50%
影響なし	3	30%
売上増につながっている	0	0%
集計	10	100%

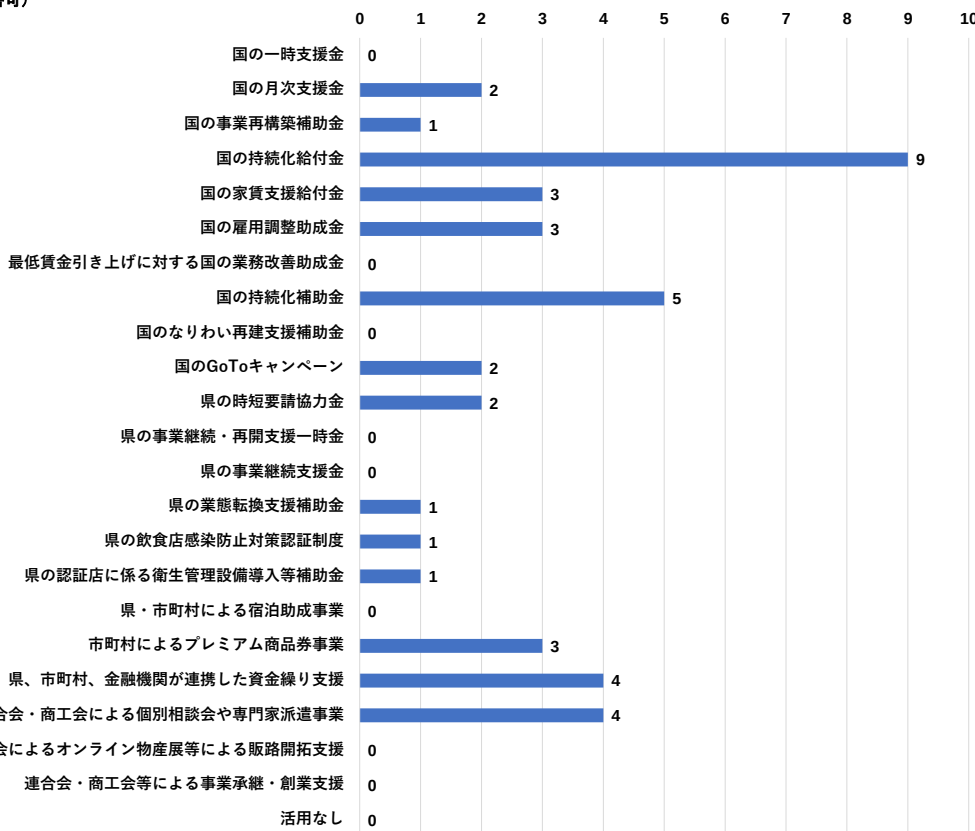


Q13 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したものの(事業継続に効果があったもの)は何ですか。(複数回答可)

支援策	件数	構成比
国の一時支援金	0	0%
国の月次支援金	2	5%
国の事業再構築補助金	1	2%
国の持続化給付金	9	22%
国の家賃支援給付金	3	7%
国の雇用調整助成金	3	7%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	0	0%
国の持続化補助金	5	12%
国のなりわい再建支援補助金	0	0%
国のGoToキャンペーン	2	5%
県の時短要請協力金	2	5%
県の事業継続・再開支援一時金	0	0%
県の事業継続支援金	0	0%
県の業態転換支援補助金	1	2%
県の飲食店感染防止対策認証制度	1	2%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	1	2%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	3	7%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	4	10%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	4	10%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	0	0%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	0	0%
活用なし	0	0%
合計	41	100%

支援策で既に活用したもの(事業継続に効果があったもの)

(複数回答)

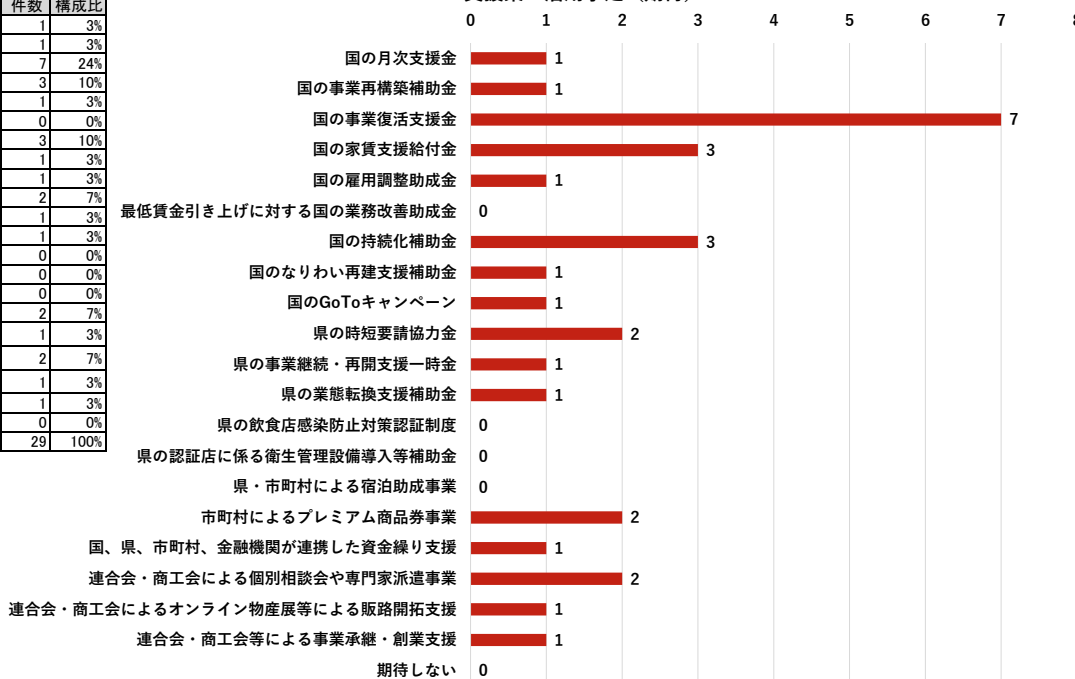


Q14 今後どのような支援策の活用を予定(期待)しますか。

支援策	件数	構成比
国の月次支援金	1	3%
国の事業再構築補助金	1	3%
国の事業復活支援金	7	24%
国の家賃支援給付金	3	10%
国の雇用調整助成金	1	3%
最低賃金引き上げに対する国の業務改善助成金	0	0%
国の持続化補助金	3	10%
国のなりわい再建支援補助金	1	3%
国のGoToキャンペーン	1	3%
県の時短要請協力金	2	7%
県の事業継続・再開支援一時金	1	3%
県の業態転換支援補助金	1	3%
県の飲食店感染防止対策認証制度	0	0%
県の認証店に係る衛生管理設備導入等補助金	0	0%
県・市町村による宿泊助成事業	0	0%
市町村によるプレミアム商品券事業	2	7%
国、県、市町村、金融機関が連携した資金繰り支援	1	3%
連合会・商工会による個別相談会や専門家派遣事業	2	7%
連合会・商工会によるオンライン物産展等による販路開拓支援	1	3%
連合会・商工会等による事業承継・創業支援	1	3%
期待しない	0	0%
合計	29	100%

支援策の活用予定(期待)

(複数回答)



第12回「経営の影響追跡調査」（自由記載集計）

菊陽町

Q5-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・Instagram・Facebookをほぼ毎日更新して、商品やお店の情報発信をして、来店客数と客単価を向上させた。
- ・令和3年1月時点で利用者が減少しており、そこからは回復も減少もしていない

Q5-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・該当なし

Q6-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・Instagram・Facebookをほぼ毎日更新して、商品やお店の情報発信をして、来店客数と客単価を向上させた。
- ・創業後まもなくだったため

Q6-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50. 40. 30. 20. 10. 0】を選択された方

- ・まん延防止対策による時短営業要請

Q7-2 売上高が100以上となった理由は何ですか。【100超. 100】を選択された方

- ・記載なし

Q7-3 売上高が50以下となった理由は何ですか。【50、40、30、20、10、0】を選択された方

- ・弊社は酒屋なので、12月は3ヵ月分の売上があります。12月と比較するのは無理です。
- ・まん延防止対策による時短営業要請

Q9-2 Q9-1で売上高(見込み)回復する時期をそれぞれ選択された理由を具体的に教えてください。

- ・業界の様々な規制（広告規制など）も影響すると思っている。
広告、イベント業をやっている弊社としては数年は厳しいと思っている。
- ・コロナウイルスが来年になれば落ち着くかもしれないので
- ・コロナの収束を見込んで
- ・コロナが落ち着いているであろう
- ・コロナの収束が見えない

Q12-2 Q12-1で【1.大きな影響が出ている】【2.やや影響が出ている】または【3.売上増につながっている】を選択された方は、その具体的な内容を教えてください。また、国等に対する要望事項があれば教えてください。

- ・仕入価格の上昇
- ・お茶を製造する時の重油の値上がりがとても厳しい
- ・原材料費の値上がり
- ・仕入価格の値上がり⇒仕入の量や種類を調整している

Q15 コロナ禍が2年近く続く中、国・県・市町村による「感染症対策と経済活動の両立」等の政策や、事業復活支援金、雇用調整助成金、持続化補助金、時短協力金等の各種事業者支援策、金融機関等による資金繰り支援、商工会による各種相談会等の支援に対する意見や要望があれば教えてください。

- ・特に思いつきませんが、一部の会社・個人だけが喜ぶことがないようなになればと思います。